

京都中部広域消防組合設立

40年のあゆみ





40th ANNIVERSARY

ごあいさつ

京都中部広域消防組合	
管理者 桂川 孝裕	3

40周年を祝して

京都中部広域消防組合議会	
議長 福井 英昭	4

発刊にあたって

京都中部広域消防組合	
消防長 森 一啓	5

管内の概要

管内の地勢	7
亀岡市	9
南丹市	10
京丹波町	11
歴代役職員名	12

40年のあゆみ

消防組合発足に至るまで	19
消防組合発足	19
消防広域業務開始	19
消防組合設立10周年	22
消防組合設立20周年	26
消防組合設立30周年	30
過去40年間における主な災害状況	35

総務編

消防予算	41
一般会計歳入歳出決算額の推移	42
消防組合の組織機構	43
消防本部署所の配置	44
消防庁舎の現況・消防用車両の現勢	45
職員数の推移	46
職員配置の状況	47
職員教育・研修実績	48
管内人口の推移	49

予防編

防火対象物の推移	52
危険物施設の推移	53

警防編

火災出動件数の推移	57
救助出動件数の推移	58
救急出動件数の推移	59
ドクターヘリの要請状況	60
消防相互応援協定の状況	61
消防緊急通信システムの状況	63
指令システムの現況	64
消防無線電話配置の状況	65

管内消防団の状況

亀岡市	66
南丹市	68
京丹波町	70
京都中部広域消防連絡協議会	72
京都中部幼年婦人防火委員会	73

ごあいさつ



京都中部広域消防組合

管理者 桂川 孝裕

京都中部広域消防組合は、昭和 57 年 4 月 1 日に、当時の亀岡市消防本部を母体に北桑田郡の京北町、美山町と船井郡園部町、八木町、丹波町、日吉町、瑞穂町、和知町の 1 市 8 町で組織する一部事務組合として発足し、同年 10 月 1 日から 1 本部 2 署 4 出張所職員 109 名の体制で業務を開始してから、本年で 40 年を迎えました。

この間、市町合併により、消防組合の構成市町は、亀岡市、南丹市 京丹波町の 2 市 1 町となりましたが、数々の災害を教訓として、組織体制、装備ともに充実を図り、今日では、1 本部 2 署 1 分署 4 出張所 189 名の職員を擁し、住民に期待される消防として発展することができました。

この節目の年にあたり、消防組合の 40 年の歩みを振り返り、構成市町をはじめ、京都府並びに組合議会、関係団体、消防団そして地域住民の皆様から、これまでに賜りました御理解と御協力に対しまして、改めて深く感謝申し上げますとともに、地域住民の皆様の安全・安心を確保するため決意を新たにすところでございます。

近年の社会情勢や気候の変化等により、備えが必要となる危機も多様化しており、大規模な自然災害等あらゆる事態に対応するため、消防の体制強化が求められています。

毎年のように日本各地において、地震や集中豪雨等の自然災害による甚大な被害が続いている中、新型コロナウイルス感染症の国内発生から 2 年以上が経過していますが、世界中で感染力を強め、変異し、依然として収束には至らず、予断を許さない状況です。

このような複雑多様化する消防需要に対し、消防行政サービスの高度化及び消防力の充実強化を図るため、消防指令業務の共同化について、当消防本部を含めた京都府中・北部地域の 6 消防本部により、令和 6 年度の運用開始に向けて進めているところであります。

今後は、この 40 年間で積み重ねた貴重な実績を礎として、創意と英知を結集し、住民の皆様の期待に応え得る消防防災体制の確立に向け、全力を傾注していく所存でございます。

今後とも、皆様のより一層の御支援と御協力をお願い申しあげまして、ごあいさつといたします。

40周年を祝して



京都中部広域消防組合議会

議長 福井英昭

京都中部広域消防組合設立40周年、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

顧みますと、この40年の間に、消防署所の整備や消防車両の更新、また、各種資機材等の近代化を図られ、堅実な発展を遂げてこられましたことは、関係各位のたゆまぬ御努力と地域の方々の御協力の賜であり、心から深く敬意を表するものであります。

近年、日本国内だけでなく世界規模で想定をはるかに超えるような様々な自然災害の発生や新たなウイルスが感染拡大するなど、日々の暮らしの中で安全・安心は欠かすことのできない重要な要素になってきております。そのような中、消防機関の果たす役割も、今後ますます大きくなっていくことと思えます。

この意味におきましても、国民の生命、身体、財産を守る消防の仕事には終わりというものはなく、常に時代の変化とともに進んでいく必要があり、災害に強いまちづくりに邁進することが肝要であると存じます。

消防組合におかれましても、40周年という記念すべき年にあたり、伝統や積み重ねられた経験を活かされ、更なる精進により、管内住民の皆様の信頼と負託に応えるために、組合議会といたしましても、消防力の向上、消防施設・装備の充実強化を図り、安全で住み良い郷土づくりのため、積極的に推進してまいる所存でございます。

今後とも、管内住民の皆様の期待に応えるため、輝かしい40周年を契機として、社会の安全・安心に貢献されますことを祈念して、お祝いの言葉といたします。

発刊にあたって



京都中部広域消防組合

消防長 森 一 啓

このたび、京都中部広域消防組合が昭和 57 年 4 月に設立して以来、40 年という記念すべき年を迎えられたことに、心から慶ぶとともに、先人や関係者の方々の御尽力に改めて深く敬意を表し感謝を申し上げます。

発足当時から現在までを振り返りますと、自然環境や社会情勢は大きく変化し、まだ記憶に新しい東日本大震災、熊本地震、平成 30 年 7 月豪雨等、全国各地で多くの災害が発生し、自然災害の脅威を痛感させられたところです。

また、平成 13 年の新宿区歌舞伎町の雑居ビルで起きた火災や令和元年の京都のアニメ制作会社での火災、そして令和 3 年 12 月の大阪クリニックビル火災のように、これまで想定しえなかった放火火災の発生により、多くの犠牲者が生じ、消防法などの改正が行われました。

さらに、増加する救急需要に加え、新型コロナウイルス感染症は、世界的にまん延し、その対策など、消防を取り巻く環境は大きく変化し、消防への期待は高まるばかりでございます。

今後も、消防組合の歴史の中で培われた各種災害等への対応から得た教訓を基に、住民の皆様の暮らしに寄り添い、消防組合のスローガンである「守ろう地域をみんなの力で、安全・安心のまちづくりを消防から」を掲げ、火災・救急・救助体制の充実強化と人命安全対策の推進、さらに、これを支える活力ある消防組織体制の確立に努め、地域住民の皆様への負託に応える所存であります。

結びに、この度組合設立 40 周年を記念し、これまで築き上げられてきたものを改めて振り返り、消防組合の今後の発展を祈念するため、この記念誌を発刊いたしました。

今後とも、当組合に対する皆様方からのより一層の御支援、御指導を賜りますようお願い申し上げ、発足 40 周年記念誌の発刊によせる挨拶とさせていただきます。

管内の概要

管内の地勢

当消防組合は、亀岡市を中核として、南丹市及び京丹波町の2市1町で構成され、京都府の中央部にあって、地勢は大阪湾に流れる桂川（淀川水系）と日本海に流れる由良川の分水界にあたる丹波高原一帯からなり、人口は約13万1千人、京都府総面積4,612.20k㎡の約4分の1を占める1,144.29k㎡を有しています。

この地域は、北東部に標高700mを超える山岳が連なり、福井県と接し、西部はなだらかな山並みが広がり兵庫県と、南部は亀岡盆地があって、大阪府、京都市と接しており、古来畿内から山陰や日本海方面に向かう重要な交通路として、また都の西門にあたる戦略上の拠点として発展してきました。

主要交通としては、JR山陰本線が圏域の南西部を縦に貫き、京都市、福知山市、綾部市と結んでいます。また、高規格道路の京都縦貫自動車道が名神高速道路大山崎ジャンクションから京丹波町を経て宮津市に、一般道路の国道9号線が京都市から福知山市に、同27号線が京丹波町から舞鶴市に、国道162号線が南丹市美山町を南北に縦断して福井県と結んでいます。さらに、国道173号線が、京丹波町の瑞穂地域から南へは阪神都市圏に、北へは綾部市に至っています。





亀岡市

市の花 つつじ
市の木 桜



亀岡市長

桂川 孝裕

「環境先進都市」「人と時代を選ばれる リーディングシティ亀岡」

亀岡市は、京都府のほぼ中央に位置し、四方を山に囲まれ、中央部を保津川が流れる山紫水明の地で、昭和30年1月、京都府で7番目の市として誕生しました。

本市では、2018年12月「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発信し、2021年1月には、全国で初となる『プラスチック製レジ袋提供禁止条例』を施行、プラスチック製レジ袋の提供を全面禁止しました。

また、府内初の地域新電力会社「亀岡ふるさとエナジー（株）」設立による再生可能エネルギーの地産地消、オーガニック農法の推進にも取り組んでいます。こうした環境や地域経済、農業など複数の領域を「かめおか霧の芸術祭」というアートがイノベーションハブとしてつなぐ、本市の持続可能なまちづくりを目指す取り組みが高く評価され、内閣府から『SDGs未来都市』の選定を受けました。

今後も、誰もが住み続けたいと思える持続可能なまちづくりに向け、次代を担う子供たちに安心して暮らすことのできる豊かな自然環境を引継ぎ、シビックプライドを育み高めることができる「人と時代を選ばれる リーディングシティ亀岡」の創造を推進します。

「サンガスタジアム by KYOCERA」

令和2年に竣工しましたサンガスタジアム by KYOCERA（京都市立京都スタジアム）は、収容人数21,600人を有する、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボールなどの専用球技場で、JR亀岡駅の東側に位置しています。京都サンガF.C.のホームスタジアムとして活用されるほか、サッカーやラグビーなどの国際試合が開催可能なスポーツ施設でもあり、音楽や地域振興の催し物など、府内最大級のイベント会場としても府民の皆さまから大きな期待が寄せられています。



「保津川下り」と「トロッコ列車」

保津川下りは、亀岡から京都の名勝嵐山までの16kmの渓流を2時間で下るスリルに満ちた豪快な船下りです。岩つつじ、新緑、紅葉、雪景色と四季それぞれの趣を持った美しい景観は保津川ならではのものです。

保津川下りと並行して通っているのがトロッコ列車、四季折々に美しい自然を満喫できる鉄橋上の絶景タイムでは、保津川下りとの微笑ましいやり取りも楽しむことができます。



南丹市

市の花 さくら
 市の木 ぶな
 市の鳥 オオルリ



南丹市長
 西村良平

南丹市の概要

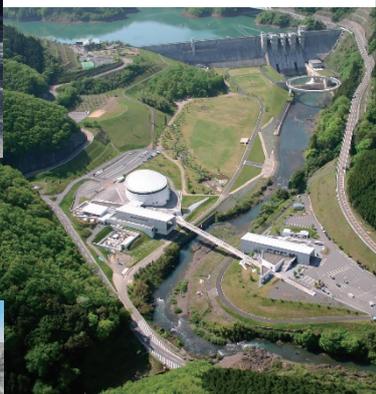
南丹市は、京都府のほぼ中央にある京都丹波地域の南に位置し、約616㎏と京都府の13.4%を占める大きな面積のまちです。地勢については、緑豊かな自然に恵まれた地域で、大半を丹波山地が占め、北部を由良川が、中・南部を淀川水系の桂川（大堰川）が流れ、その間にいくつかの山間盆地が形成され、南部は亀岡盆地につながっています。道路基盤は、北部に国道162号、南部に国道9号、国道477号、国道372号、京都縦貫自動車道が走っており、域内を走る各府道が国道へのアクセス道路となっています。

また、南部にはJR山陰本線が走っており、京都市などの通勤圏にあります。観光資源は豊富で、日本の原風景の残る「かやぶき保存群」をはじめ「スプリングスひよし」など日吉ダム周辺施設、園部の「りり溪」、また園部城跡や八木城跡をはじめ数多くの中世城郭跡が多く交流人口の増加に寄与しています。

しかしながら、少子高齢化、過疎化により人口減少が続いており、この状況から脱却するため、雇用を生み出す企業誘致や需要に応える住宅の確保、生活環境の充実、市内のそれぞれの地域個性を引き出すまちづくり組織や産業、文化、福祉、教育などの市域全域の活性化計画を基本とした「市民協働」を中心に取り組むことが重要だと考えています。南丹市の持続的な発展に向けて「定住促進」・「子育て支援」・「強い地域産業づくり」を施策の柱とし、「南丹市をもっと元気に！地域の個性（特徴）を生かし希望あるまちづくり」を目指して、誇りと将来に希望が持てる住みよいまちへと飛躍できるよう、政策の実現に向けてそれぞれの施策の推進に努めています。



日本最後の城
 (園部城)



日吉ダム
 スプリングスひよし



日本最古の天満宮
 (生身天満宮)



八木城俯瞰図イラスト



美山かやぶきの里



京丹波町

町の花 つつじ
町の木 イチョウ
町の鳥 うぐいす



京丹波町長
畠 中 源 一

京丹波町の概要

京都府の中央部、丹波高原の由良川上流部に位置する京丹波町は、平成17年10月11日に丹波町、瑞穂町、和知町が合併して誕生しました。

人口は約13,000人、丹波高原にあって、長老ヶ岳（917m）のほか標高400～900メートルの緑深き山々に囲まれ、南側の山地は分水嶺の一部を成しています。面積303.07平方キロメートルのうち約83%を森林が占める中山間地ながら、古くから都と山陰地方を結ぶ交通の要衝として栄え、現在も京都縦貫自動車道やJR山陰本線、3つの国道が交わり、京阪神の大都市圏へ1時間あまりで移動できるなど交通環境に恵まれた地域です。

一方、四季折々にその姿を美しく変える「琴滝」や、京都府内唯一の鍾乳洞「質志鍾乳洞」、丹波高原の雄峰「長老ヶ岳」などの観光客をひきつける景勝地のほか、府立丹波自然運動公園やグリーンランドみずほなどの施設を拠点に、スポーツに親しむ人が多数訪れる環境があります。歴史ある建造物や史跡も多く、和知人形浄瑠璃など古くから受け継がれてきた民俗芸能の保存活動も盛んに行われています。

京丹波町は、歴史や伝統、豊かな自然を大切に、丹波高原の気候、文化、自然環境の「風土」と、そこから生まれる高いブランド力をもつ「食」を軸に、誰もが「健やか」で「幸せ」に、いきいきと暮らせるウエルネスタウン構想を掲げ、個性あるまちの創造をめざしています。



名勝 琴滝

高さ40mの一枚岩の上を、流れ落ちる水が13弦の琴糸のように美しい滝



質志鍾乳洞

京都府唯一の鍾乳洞
公園内はキャンプ、バードウォッチング、ハイキングなどが楽しめます。

長老ヶ岳

丹波地方を代表する山
標高917mの山頂からのパノラマが素晴らしく、天気の良い日は遠く日本海が望めます。



歴代役職員名

管理者

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	谷口 義久	自 昭和57年4月1日 至 平成11年1月29日	亀岡市長
2代	田中 英夫	自 平成11年2月12日 至 平成15年10月9日	〃
3代	栗山 正隆	自 平成15年11月18日 至 平成27年11月8日	〃
4代	桂川 孝裕	自 平成27年11月13日 現在に至る	〃

副管理者

市町名	歴代	氏名	在職期間	附記
亀岡市	初代	西村 美孝	自 昭和57年4月1日 至 昭和57年11月14日	亀岡市助役
	2代	芦田 進	自 昭和58年4月1日 至 昭和62年3月31日	〃
	3代	田中 英夫	自 昭和62年4月1日 至 昭和62年6月30日	〃
	4代	山名 義雄	自 昭和62年7月1日 至 平成4年12月31日	〃
	5代	井内 潔	自 平成5年1月1日 至 平成8年12月31日	〃
	6代	山名 義雄	自 平成9年1月1日 至 平成9年3月20日	〃
	7代	谷村 幸男	自 平成9年3月21日 至 平成17年3月20日	〃
	8代	寸田 武	自 平成17年4月1日 至 平成19年3月31日	〃
	9代	畠中 一樹	自 平成19年4月1日 至 平成21年3月31日	亀岡市副市長
	10代	山崎 達雄	自 平成21年4月1日 至 平成24年3月31日	〃
	11代	勝見 彰	自 平成24年4月1日 至 平成28年3月31日	〃
	12代	石野 茂	自 平成28年4月1日 現在に至る	〃
南丹市	初代	中川 圭一	自 平成18年2月19日 至 平成18年3月15日	南丹市長
	2代	佐々木 稔納	自 平成18年4月30日 至 平成30年4月29日	〃
	3代	西村 良平	自 平成30年4月30日 現在に至る	〃
京丹波町	初代	松原 茂樹	自 平成17年11月20日 至 平成21年11月19日	京丹波町長
	2代	寺尾 豊爾	自 平成21年11月20日 至 平成29年11月19日	〃
	3代	太田 昇	自 平成29年11月20日 至 令和3年11月19日	〃
	4代	畠中 源一	自 令和3年11月20日 現在に至る	〃

旧京北町	初代	平岩 祐夫	自 昭和57年4月1日 至 昭和60年6月24日	旧京北町長
	2代	村山 正美	自 昭和60年6月25日 至 平成元年6月24日	〃
	3代	野上 茂	自 平成元年6月25日 至 平成9年6月24日	〃
	4代	石浦 道男	自 平成9年6月25日 至 平成17年1月24日	〃
旧美山町	初代	山内 忠一	自 昭和57年4月1日 至 平成7年4月19日	旧美山町長
	2代	中田 脩	自 平成7年4月23日 至 平成15年4月24日	〃
	3代	中島 三夫	自 平成15年4月27日 至 平成17年12月31日	〃
旧園部町	初代	野中 一二三	自 昭和57年4月1日 至 平成17年12月31日	旧園部町長
旧八木町	初代	細見 健	自 昭和57年4月1日 至 平成4年2月7日	旧八木町長
	2代	中川 泰宏	自 平成4年2月23日 至 平成14年3月19日	〃
	3代	岸上 吉治	自 平成14年5月5日 至 平成17年12月31日	〃
旧丹波町	初代	田端 長夫	自 昭和57年4月1日 至 昭和58年4月29日	旧丹波町長
	2代	山崎 高明	自 昭和58年4月30日 至 平成6年7月8日	〃
	3代	横山 義雄	自 平成6年8月28日 至 平成17年10月10日	〃
旧日吉町	初代	湯浅 宏	自 昭和57年4月1日 至 平成7年4月29日	旧日吉町長
	2代	芦田 四郎	自 平成7年4月30日 至 平成11年4月29日	〃
	3代	仲村 脩	自 平成11年4月30日 至 平成17年12月31日	〃
旧瑞穂町	初代	島中 正二	自 昭和57年4月1日 至 昭和62年4月29日	旧瑞穂町長
	2代	黒田 一夫	自 昭和62年4月30日 至 平成17年10月10日	〃
旧和知町	初代	竹内 義男	自 昭和57年4月1日 至 昭和62年1月27日	旧和知町長
	2代	野間 靖隆	自 昭和62年1月28日 至 平成3年1月27日	〃
	3代	十倉 健	自 平成3年1月28日 至 平成7年1月27日	〃
	4代	野間 靖隆	自 平成7年1月28日 至 平成15年1月27日	〃
	5代	堀 郁太郎	自 平成15年1月28日 至 平成17年10月10日	〃

議会議長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	松浦 芳実	自 昭和 57 年 4 月 1 日 至 昭和 58 年 2 月 4 日	亀岡市議会議長
2 代	桂 実郎	自 昭和 58 年 2 月 28 日 至 昭和 62 年 2 月 4 日	〃
3 代	松浦 芳実	自 昭和 62 年 2 月 28 日 至 平成 4 年 3 月 27 日	〃
4 代	美馬 靖征	自 平成 4 年 6 月 6 日 至 平成 7 年 2 月 4 日	〃
5 代	竹岡 良藏	自 平成 7 年 2 月 28 日 至 平成 8 年 3 月 28 日	〃
6 代	光島 利史	自 平成 8 年 7 月 22 日 至 平成 9 年 5 月 9 日	〃
7 代	長沢 宏	自 平成 9 年 5 月 9 日 至 平成 11 年 2 月 4 日	〃
8 代	小塩 正幸	自 平成 11 年 2 月 26 日 至 平成 12 年 2 月 15 日	〃
9 代	湯浅 誠一	自 平成 12 年 2 月 28 日 至 平成 13 年 2 月 28 日	〃
10 代	野々村 勉	自 平成 13 年 2 月 28 日 至 平成 14 年 2 月 15 日	〃
11 代	堤 松男	自 平成 14 年 2 月 28 日 至 平成 15 年 2 月 15 日	〃
12 代	石野 正作	自 平成 15 年 2 月 21 日 至 平成 16 年 2 月 16 日	〃
13 代	野々村 嘉平	自 平成 16 年 2 月 26 日 至 平成 17 年 2 月 16 日	〃
14 代	田中 義雄	自 平成 17 年 2 月 25 日 至 平成 18 年 2 月 16 日	〃
15 代	竹岡 良藏	自 平成 18 年 3 月 29 日 至 平成 19 年 2 月 4 日	〃
16 代	田中 義雄	自 平成 19 年 2 月 27 日 至 平成 21 年 2 月 16 日	〃
17 代	松本 富雄	自 平成 21 年 2 月 26 日 至 平成 23 年 2 月 4 日	〃
18 代	石野 善司	自 平成 23 年 2 月 25 日 至 平成 24 年 2 月 15 日	〃
19 代	木曾 利廣	自 平成 24 年 2 月 29 日 至 平成 26 年 2 月 28 日	〃
20 代	明田 昭	自 平成 26 年 2 月 28 日 至 平成 27 年 2 月 4 日	〃
21 代	西口 純生	自 平成 27 年 2 月 27 日 至 平成 29 年 2 月 15 日	〃
22 代	湊 泰孝	自 平成 29 年 2 月 28 日 至 平成 31 年 2 月 4 日	〃
23 代	齊藤 一義	自 平成 31 年 2 月 28 日 至 令和 3 年 1 月 21 日	〃
24 代	福井 英昭	自 令和 3 年 2 月 22 日 現在に至る	〃

議会副議長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	佐々谷 重太郎	自 昭和 57 年 4 月 1 日 至 昭和 62 年 5 月 9 日	園部町議会議長
2代	高屋 直志	自 昭和 62 年 6 月 4 日 至 平成 7 年 1 月 30 日	〃
3代	岸上 吉治	自 平成 7 年 2 月 28 日 至 平成 7 年 11 月 14 日	八木町議会議長
4代	中川 圭一	自 平成 7 年 12 月 26 日 至 平成 11 年 5 月 10 日	園部町議会議長
5代	佐々谷 元秀	自 平成 11 年 8 月 5 日 至 平成 15 年 5 月 13 日	〃
6代	中川 圭一	自 平成 15 年 7 月 11 日 至 平成 17 年 12 月 31 日	〃
7代	高橋 芳治	自 平成 18 年 3 月 29 日 至 平成 20 年 3 月 2 日	南丹市議会議長
8代	吉田 繁治	自 平成 20 年 3 月 3 日 至 平成 22 年 2 月 18 日	〃
9代	井尻 治	自 平成 22 年 2 月 26 日 至 平成 24 年 2 月 22 日	〃
10代	村田 正夫	自 平成 24 年 2 月 29 日 至 平成 26 年 2 月 18 日	〃
11代	橋本 尊文	自 平成 26 年 2 月 28 日 至 平成 28 年 2 月 22 日	〃
12代	小中 昭	自 平成 28 年 2 月 26 日 至 平成 30 年 2 月 18 日	〃
13代	今面 不悖	自 平成 30 年 2 月 27 日 至 令和 2 年 2 月 18 日	〃
14代	谷尻 宣雄	自 令和 2 年 2 月 26 日 至 令和 4 年 2 月 20 日	〃
15代	前田 義明	自 令和 4 年 2 月 28 日 現在に至る	〃

収入役

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	安藤 重直	自 昭和 57 年 4 月 1 日 至 昭和 60 年 4 月 5 日	亀岡市収入役
2代	山名 義雄	自 昭和 60 年 4 月 6 日 至 昭和 62 年 6 月 30 日	〃
3代	井内 潔	自 昭和 62 年 7 月 1 日 至 平成 4 年 12 月 31 日	〃
4代	中川 太郎	自 平成 5 年 1 月 1 日 至 平成 12 年 12 月 31 日	〃
5代	畠中 一樹	自 平成 13 年 1 月 1 日 至 平成 17 年 3 月 31 日	〃

消防長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	溝口 弘和	自 昭和57年4月1日 至 昭和59年3月31日	
2代	森川 唯男	自 昭和59年5月1日 至 昭和60年3月31日	昭和59年4月1日から4月30日まで消防長職務代理者
3代	山口 真一	自 昭和60年4月1日 至 昭和63年3月31日	
4代	松本 貞男	自 昭和63年4月1日 至 平成6年3月31日	
5代	岸本 有重	自 平成6年4月1日 至 平成10年3月31日	
6代	田中 義啓	自 平成10年4月1日 至 平成11年3月31日	
7代	吉岡 弘行	自 平成11年4月1日 至 平成13年3月31日	
8代	村上 勝	自 平成13年4月1日 至 平成15年3月31日	
9代	面田 廣道	自 平成15年4月1日 至 平成19年3月31日	
10代	芦田 俊孝	自 平成19年4月1日 至 平成22年3月31日	
11代	野々村 邦広	自 平成22年4月1日 至 平成27年3月31日	
12代	原野 信孝	自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日	
13代	井内 章夫	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日	
14代	林 雅彦	自 平成29年4月1日 至 平成31年3月31日	
15代	森 一啓	自 平成31年4月1日 現 在 に 至 る	

消防次長

歴代	氏名	在職期間	附記
	森川 唯男	自 昭和57年4月1日 至 昭和59年4月30日	
	井上 邦雄	自 昭和59年5月1日 至 昭和60年3月31日	
	山口 真一	自 昭和61年10月1日 至 昭和63年3月31日	
	松本 貞男	自 昭和63年4月1日 至 平成5年3月31日	
	岸本 有重	自 平成5年4月1日 至 平成6年3月31日	
	大石 武	自 平成6年6月1日 至 平成9年3月31日	
	伴 勝美	自 平成9年4月1日 至 平成12年3月31日	
	村上 勝	自 平成12年4月1日 至 平成13年3月31日	
	美馬 克次	自 平成13年4月1日 至 平成14年3月31日	

	西田 廣道	自 平成 14 年 4 月 1 日 至 平成 15 年 3 月 31 日	
	中井 喜嗣	自 平成 15 年 4 月 1 日 至 平成 16 年 3 月 31 日	
	稲荷 直加	自 平成 16 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日	
	芦田 俊孝	自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日	
	原野 信孝	自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日	
	野々村 邦広	自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日	
	西田 均	自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 3 月 31 日	
	林 雅彦	自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日	
	井内 章夫	自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日	
	中川 能季	自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日	
	森 一啓	自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 3 月 31 日	
	安井 義人	自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日	
	齊藤 浩久	自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日	
	曾利 一之	自 令和 3 年 4 月 1 日 現在に至る	

亀岡消防署長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	橋本 恒夫	自 昭和 57 年 4 月 1 日 至 昭和 59 年 3 月 31 日	
2代	西田 欣生	自 昭和 59 年 4 月 1 日 至 平成 元年 3 月 31 日	
3代	岸本 有重	自 平成 元年 4 月 1 日 至 平成 5 年 3 月 31 日	
4代	田中 義啓	自 平成 5 年 4 月 1 日 至 平成 7 年 4 月 30 日	
5代	吉岡 弘行	自 平成 7 年 5 月 1 日 至 平成 10 年 4 月 30 日	
6代	西田 廣道	自 平成 10 年 5 月 1 日 至 平成 14 年 3 月 31 日	
7代	川本 利三	自 平成 14 年 4 月 1 日 至 平成 16 年 3 月 31 日	
8代	安川 一之	自 平成 16 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 3 月 31 日	
9代	原野 信孝	自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日	
10代	野々村 邦広	自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日	
11代	西田 均	自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 3 月 31 日	
12代	森 滋夫	自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 3 月 31 日	

13 代	林 雅彦	自 平成24年4月1日 至 平成28年3月31日	
14 代	中川 能季	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日	
15 代	伊津 良樹	自 平成29年4月1日 至 平成31年3月31日	
16 代	菊井 誠	自 平成31年4月1日 至 令和4年3月31日	
17 代	中川 猛	自 令和4年4月1日 現在に至る	

園部消防署長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	附 記
初 代	岸 本 有 重	自 昭和57年10月1日 至 昭和59年3月31日	
2 代	田 井 晃	自 昭和59年4月1日 至 平成元年3月31日	
3 代	西 田 欣 生	自 平成元年4月1日 至 平成4年3月31日	
4 代	田 井 晃	自 平成4年4月1日 至 平成5年3月31日	
5 代	俣 野 幸 雄	自 平成5年4月1日 至 平成7年4月30日	
6 代	田 中 義 啓	自 平成7年5月1日 至 平成10年3月31日	
7 代	吉 岡 弘 行	自 平成10年5月1日 至 平成11年3月31日	
8 代	川 本 利 三	自 平成11年5月1日 至 平成14年3月31日	
9 代	安 川 一 之	自 平成14年4月1日 至 平成16年3月31日	
10 代	面 村 克 己	自 平成16年4月1日 至 平成18年3月31日	
11 代	芦 田 俊 孝	自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日	
12 代	面 田 均	自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日	
13 代	原 野 信 孝	自 平成20年4月1日 至 平成22年3月31日	
14 代	面 田 均	自 平成22年4月1日 至 平成24年3月31日	
15 代	中川 能季	自 平成24年4月1日 至 平成27年3月31日	
16 代	井 内 章 夫	自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日	
17 代	畑 中 克 彦	自 平成28年4月1日 至 平成30年3月10日	
18 代	久 保 元 哲 志	自 平成30年4月1日 至 令和2年3月31日	
19 代	上 原 正 男	自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日	
20 代	瀧 上 剛	自 令和3年4月1日 現在に至る	

40年のあゆみ

消防組合発足に至るまで

昭和 47 年		
3 月		北桑田・船井地区広域市町村圏の消防常備計画の決定
昭和 54 年		
8 月		亀岡市消防本部・亀岡市消防署庁舎完成（現組合消防本部・亀岡消防署）
昭和 56 年		
5 月		京都中部地区広域市町村圏の広域常備消防体制整備計画の協議開始
昭和 57 年		
1 月		北桑田・船井郡の 8 町に消防本部等設置政令指定の内地
2 月		京都中部地区市町村圏の広域消防計画の最終決定

消防組合発足

昭和 57 年		
4 月	1 日	京都中部地域の消防の常備化を確立するため、亀岡市消防本部、署を発展的に解消し、亀岡市、北桑田郡及び船井郡の 1 市 8 町により京都中部広域消防組合を設立〔職員数 109 人（条例定数 132 人）〕 亀岡消防署、東出張所の業務を開始 京都中部広域消防連絡協議会発足 昭和 57 年第 1 回組合議会臨時会を開催
	14 日	日本損害保険協会から寄贈を受け、亀岡消防署の救急車ⅡB型を更新
5 月		園部消防署、京北・美山・丹波出張所庁舎新築工事を着工
	31 日	昭和 57 年第 2 回組合議会臨時会を開催
8 月	16 日	職員 2 人を採用（職員数 108 人）
9 月	1 日	昭和 57 年第 3 回組合議会臨時会を開催
	30 日	園部消防署、京北・美山・丹波出張所庁舎が完成し竣工式を開催 指令車を購入し、園部消防署に配備 消防ポンプ自動車CD-I型 4 台を購入、園部消防署、京北・美山・丹波出張所に配備 救急自動車ⅡB型を園部ライオンズクラブから 2 台、京都府共済農業協同組合連合会及び日本消防協会から各 1 台の寄贈を受け、園部消防署、京北・美山・丹波出張所に配備 赤バイク 4 台を購入し、園部消防署、京北・美山・丹波出張所に配備 職員 1 人を採用（職員数 109 人）

消防広域業務開始

10 月	1 日	通信指令装置B型を消防本部に設置、運用を開始 園部消防署、京北・美山・丹波出張所の業務を開始 園部消防署－署長以下 16 人体制 京北出張所－職員 8 人体制 美山出張所－職員 8 人体制 丹波出張所－所長以下 9 人体制 消防用無線の前進基地局を設置（京北町大字下中、美山町大字静原、美山町大字田歌、丹波町大字富田）
	26 日	消防組合発足後初の組合議会 10 月定例会を開催
12 月	8 日	組合章を制定

昭和 58 年

- 2月 28日 昭和 58 年 2 月組合議会定例会を開催
- 4月 1日 京北・美山出張所に所長を配置一所长以下 9 人体制
職員 8 人を採用（職員数 116 人）
- 8月 30日 京都府総合防災訓練に参加（亀岡市月読橋グラウンド）
- 9月 1日 職員 1 人を採用（職員数 116 人）
- 27日 八木出張所に配備する消防ポンプ自動車 CD-I 型（無線機付）を購入
- 10月 1日 園部消防署に職員を増員一署長以下 19 人体制
- 14日 昭和 58 年 10 月組合議会定例会を開催
- 11月 1日 若狭消防組合との間に消防の相互応援に関する協定を締結
- 26日 水槽付消防ポンプ自動車 I-B 型を購入、亀岡消防署に配備
- 12月 八木出張所庁舎新築工事を着工
- 1日 綾部市との間に消防の相互応援に関する協定を締結
- 24日 昭和 58 年第 1 回組合議会臨時会を開催

昭和 59 年

- 2月 27日 昭和 59 年 2 月組合議会定例会を開催
- 3月 19日 消防本部用地 1,228.47 m²を購入、訓練場が完成
- 27日 八木出張所庁舎新築工事が完成
- 31日 高槻市、茨木市、能勢町、豊能町との間に各々消防の相互応援に関する協定を締結
職員 1 人を採用（職員数 117 人）
- 4月 1日 八木出張所の業務を開始一所长以下 9 人体制
消防本部警防課通信係を 2 係制
- 2日 職員 5 人を採用（職員数 119 人）
- 8月 9日 危険物安全協会亀岡支部から査察車の寄贈を受け、亀岡消防署に配備
- 30日 国道 9 号線老ノ坂トンネル内車両火災総合訓練を実施
- 9月 1日 福知山市との間に消防の相互応援に関する協定及び同協定に基づく覚書を締結
- 10月 1日 多紀郡広域行政事務組合との間に消防の相互応援に関する協定及び同協定に基づく覚書を締結
- 26日 昭和 59 年 10 月組合議会定例会を開催
- 12月 26日 昭和 59 年第 1 回組合議会臨時会を開催

昭和 60 年

- 2月 26日 昭和 60 年 2 月組合議会定例会を開催
- 3月 22日 日本損害保険協会から寄贈を受け、亀岡消防署の救急自動車 II B 型を更新
- 4月 1日 職員 6 人を採用（職員数 125 人）
東出張所に所長を配置一所长以下 9 人体制
園部消防署に予防係長を配置
- 6月 8日 連絡車を配備
- 10月 26日 昭和 60 年 10 月組合議会定例会を開催
- 12月 26日 昭和 60 年第 1 回組合議会臨時会を開催

昭和 61 年

- 2月 28日 昭和 61 年 2 月組合議会定例会を開催
- 4月 1日 職員 8 人を採用（職員数 132 人）
東・八木出張所に職員を増員一所长以下 10 人体制
- 5月 26日 昭和 61 年第 1 回組合議会臨時会を開催
- 7月 30日 査察車を配備
- 10月 1日 亀岡消防署に救急係を新設
東・八木出張所に職員を増員一所长以下 11 人体制
園部消防署に職員を増員一署長以下 24 人体制
- 20日 昭和 61 年 10 月組合議会定例会を開催
- 11月 25日 防災講演会「北極点と防火」を開催
- 30日 第 1 回ちびっこ消防のつどいを開催（亀岡市）

昭和 62 年	12 月	17 日	東出張所の消防ポンプ自動車 C D - I 型を更新
		25 日	昭和 61 年第 2 回組合議会臨時会を開催
	2 月	28 日	昭和 62 年 2 月組合議会定例会を開催
	6 月	5 日	防災講演会「防災と安全の危機管理」を開催
		23 日	第 1 回消防救助技術訓練大会を開催
		29 日	無人走行放水車を試作、発表
	7 月		本部基地局無線機を更新（第 1 装置）
			消防用無線の前進基地局を増設（和知町大字升谷）
	8 月	31 日	京都市との間に消防の相互応援に関する協定を締結
	9 月	9 日	大型バスの事故による多数の負傷者の発生を想定した、集団救急事故訓練を実施
11 日		消防本部の指令車を更新	
10 月	18 日	第 2 回ちびっこ消防のつどいを開催（園部町）	
	20 日	昭和 62 年 10 月組合議会定例会を開催	
11 月	24 日	水槽付消防ポンプ自動車 I - A 型を購入、園部消防署に配備	
12 月	25 日	昭和 62 年第 1 回組合議会臨時会を開催	
昭和 63 年	2 月	1 日	東出張所の救急業務を開始
		17 日	京都縦貫自動車道老ノ坂亀岡道路の開通に伴い、京都市との間に篠・沓掛インターチェンジ間における消防の相互応援に関する覚書を締結
			園部消防署に救助資機材を配備
		27 日	昭和 63 年 2 月組合議会定例会を開催
	5 月	27 日	社会福祉施設を対象に防火管理者等研修会を開催
	8 月	9 日	旅館・ホテル等防火管理等研修会を開催
		23 日	上級防火管理等研修会を開催
	10 月		第 43 回国民体育大会秋季大会の警備を実施
		26 日	昭和 63 年 10 月組合議会定例会を開催
	12 月	20 日	亀岡消防署に救助工作車 II 型を配備
26 日		昭和 63 年第 1 回組合議会臨時会を開催	
平成元年	2 月	28 日	平成元年 2 月組合議会定例会を開催
			第 2 次整備計画（平成元年度から平成 5 年度）を策定
	3 月	1 日	救急基金から寄贈を受け、東出張所の救急自動車 II B 型を更新
			母と子の防火のつどい開催（亀岡市）
		29 日	丹波出張所の救急自動車 II B 型を更新
	4 月	1 日	職員の条例定数を 168 人に改める
			職員 11 人を採用（職員数 143 人）
	5 月		B 型肝炎ワクチンを職員に接種
			第 2 回消防救助技術訓練大会を開催
	6 月	1 日	防災講演会「異常気象と防災」を開催
	8 月	30 日	京北・美山・丹波出張所に連絡車を配備
			京北・美山出張所の救急自動車の無線機を更新
	10 月	30 日	平成元年 10 月組合議会定例会を開催
	11 月	1 日	園部消防署に職員を増員一署長以下 26 人体制
			京北・美山出張所に職員を増員一所長以下 11 人体制
		母と子の防火のつどいを開催（丹波町）	
12 月	1 日	大規模災害及び特殊災害が発生した場合における京都府内市町村及び消防一部事務組合が行う消防の相互応援に関する協定を締結	
	25 日	平成元年第 1 回組合議会臨時会を開催	
平成 2 年	2 月	28 日	平成 2 年 2 月組合議会定例会を開催
		20 日	園部消防署の指令車を更新

4月	1日	消防本部の3課25人体制を2課19人体制に改める 亀岡消防署に課制を導入し職員を増員—署長以下42人体制
6月	20日	第3回消防救助技術訓練大会を開催
9月	3日	防災講演会「地域の安全を考える」を開催
10月	12日	平成2年度京都府高圧ガス防災訓練に参加
	26日	平成2年10月組合議会定例会を開催
11月	10日	日本消防協会から寄贈を受け、亀岡消防署の救急自動車ⅡB型を更新
	19日	東・八木出張所に連絡車を配備
	20日	母と子の防火のつどいを開催（亀岡市）
12月	6日	亀岡消防署の指令車を更新
	25日	平成2年第1回組合議会臨時会を開催
平成3年		
	2月28日	平成3年2月組合議会定例会を開催
	3月31日	亀岡消防署の消防ポンプ自動車CD-I型、京北出張所の救急自動車ⅡB型を更新
	4月8日	京都府から起震車の寄贈を受け、消防本部に配備
	6月6日	第4回消防救助技術訓練大会を開催
	8月8日	日本消防協会から指令広報車の寄贈を受け、園部消防署に配備
10月	24日	平成3年10月組合議会定例会を開催
11月		本部基地局無線機を更新（第2装置）
	8日	母と子の防火のつどいを開催（日吉町）
12月	26日	平成3年第1回組合議会臨時会を開催
平成4年		
	1月	消防専用無線に救急波を導入（第3装置）、車載無線機1台新規配備
	2月28日	平成4年2月組合議会定例会を開催
	3月7日	救急用の有・無線システム運用開始
	11日	園部消防署及び八木出張所の救急自動車ⅡB型を更新
		可搬型携帯用無線機2台を新規配備
	19日	広報紙「京都中部消防」を創刊

消防組合設立10周年

4月	1日	職員6人を採用（職員数146人）
6月	6日	平成4年第1回組合議会臨時会を開催
	8日	第5回消防救助技術訓練大会を開催
	11日	防災研究会「最近の危険物災害から学ぶもの」を開催
8月	9日	組合設立10周年、京都中部広域消防連絡協議会結成10周年を記念して組合を構成する1市8町消防団により京都中部地区消防操法大会を開催
9月		消防本部庁舎増築工事を着工
10月	1日	組合設立10周年記念式典を挙行 「組合設立10年のあゆみ」を刊行
	22日	平成4年10月組合議会定例会を開催
	29日	母と子の防火のつどいを開催（亀岡市）
11月	30日	広報紙「京都中部消防」第2号刊行
12月	24日	平成4年第2回組合議会臨時会を開催
平成5年		
	1月7日	組合設立10周年を記念して消防署旗・出張所旗を制定
	2月26日	平成5年2月組合議会定例会を開催
	3月16日	消防本部庁舎増築工事が完成
	22日	広報紙「京都中部消防」第3号刊行
	26日	車載無線機2台を更新
3月	30日	美山出張所の救急自動車ⅡB型を更新

4月	1日	職員24人を採用（職員数167人） 消防本部・亀岡消防署の電話番号を従来の代表番号制を廃止し、ダイヤルイン方式（各課・係への直通回線）を導入
6月	11日	第6回消防救助技術訓練大会を開催
7月	22日	第22回消防救助技術東近畿地区指導会ほふく救出の部で優勝
8月		消防緊急通信指令システム設置工事着工
	13日	京都中部地域救急医療懇談会を開催
	18日	平成5年第1回組合議会臨時会を開催
	20日	第22回全国消防救助技術大会ほふく救出の部で入賞
10月	8日	全国消防長会東近畿支部役員会・京都府消防長会総会を亀岡市で開催
	26日	防災講演会「高度情報化社会に向けての火災予防について」を開催
	29日	平成5年10月組合議会定例会を開催
11月	9日	JR園部駅構内にて関係機関と合同の集団救急救助事故訓練実施
	11日	幼年消防北桑田・船井地区大会を開催（瑞穂町）
12月	1日	広報紙「京都中部消防」第4号刊行
	24日	平成5年第2回組合議会臨時会を開催 救急用消毒資器材（滅菌器）を亀岡消防署に配備
平成6年		
1月		車載無線機5台を更新配備
2月	28日	平成6年2月組合議会定例会を開催
3月	1日	丹波出張所の消防ポンプ自動車CD-I型を更新
	19日	救急処置拡大9項目に伴う救急資機材を亀岡・園部両署に配備（聴診器、患者監視装置、エアーウェイ、喉頭鏡、マギール鉗子、心マッサージ器、在宅療法継続用資機材）
	30日	消防緊急通信指令システムII型設置工事完了、竣工式を挙行 広報紙「京都中部消防」第5号刊行 高度救急資機材を亀岡・園部両署に配備
4月	1日	消防緊急通信指令システム運用開始 職員4人を採用（職員数168人）
5月	12日	亀岡市危険物安全協会から寄贈を受け、亀岡消防署の査察車を更新
	31日	亀岡消防署東消防庁舎用地を取得、新築工事着工
6月		救急用消毒資器材（滅菌器）を園部消防署に配備
	6日	第7回消防救助技術訓練大会を開催
	8日	平成6年第1回組合議会臨時会を開催
7月		水難用救助用具を園部消防署に配備
9月	21日	消防本部に資機材搬送車を配備
10月	1日	「市民・町民救急員」制度開始
	21日	平成6年10月組合議会定例会を開催
11月	4日	母と子の防火のつどいを開催（亀岡市）
12月	21日	亀岡消防署東分署庁舎竣工式を挙行 亀岡消防署東出張所を分署に昇格し、職員を増員一職員21人体制
	22日	園部消防署の消防ポンプ自動車CD-I型を更新
	26日	平成6年第2回組合議会臨時会を開催
平成7年		
1月	17日	阪神淡路大震災発生、18日から25日の間、当組合から救助隊、救急隊延べ99名を神戸市東灘区に派遣し救急救助活動を実施 車載無線機2台を更新配備 園部消防署の消防ポンプ自動車CD-I型を更新
2月	28日	平成7年2月組合議会定例会を開催
3月	6日	園部消防署にて防災安全講習会を開催
	27日	広報紙「京都中部しょうぼう」第6号刊行
5月	1日	消防本部に中長期消防計画策定のためのプロジェクトチームを設置

5月	31日	第8回消防救助技術訓練大会実施
8月	2日	亀岡・園部消防署合同規律訓練実施
	29日	防災講演会「地震に対する市民の備え、市民の役割」を開催
9月	1日	救急処置拡大9項目に伴う救急資機材を全救急自動車に配備 地震を想定した消防職員非常招集訓練を実施 平成7年度京都府総合防災訓練（綾部市）に消防隊1隊が参加 緊急消防援助隊に救助隊を登録
	5日	京都縦貫自動車道にて、関係機関合同による集団救急訓練を開催
10月	23日	平成7年10月組合議会定例会を開催
11月	14日	幼年消防北桑田・船井地区大会を開催（和知町）
	25日	平成7年度近畿府県合同防災訓練（滋賀県彦根市）に緊急消防援助隊1隊が参加
12月	4日	亀岡消防署に高規格救急自動車を配備
	22日	京北出張所の消防ポンプ自動車CD-I型を更新
	26日	平成7年第1回組合議会臨時会を開催
	27日	亀岡消防署に防護服（耐ガス密封式）を配備
平成8年		
1月	4日	亀岡消防署高度救急業務を開始
	8日	8日から21日の間、管内の市役所、町役場等で防災写真展を開催
	17日	「阪神・淡路大震災から1年」職員招集訓練を実施
2月	29日	平成8年2月組合議会定例会を開催
3月	1日	京都中部広域消防組合消防計画（新しい時代への展望）を策定
	25日	広報紙「京都中部しょうぼう」第7号刊行
4月	23日	京都縦貫自動車道（京都丹波道路）で開通を前に大規模災害合同訓練を実施
5月	29日	第9回消防救助技術訓練大会を開催
6月	6日	給油取扱所防災リーダー研修会を開催
7月	22日	平成8年第1回組合議会臨時会を開催
	29日	亀岡消防署の査察車を配備 日本防火協会から寄贈を受け、園部消防署に防火号を新配備
8月	30日	防災講演会「阪神淡路大震災を省みて、今人々に伝えることは」を開催
9月	3日	平成8年度京都府総合防災訓練に参加（園部町多目的グラウンド）
10月	7日	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車II型の寄贈を受け、東分署に配備
	23日	平成8年10月組合議会定例会を開催
11月	8日	母と子の防火のつどい開催（亀岡市）
12月	2日	職員5人を採用（職員数169人）〔条例定数174人〕
	10日	亀岡消防署にはしご付消防ポンプ自動車（30m級）を配備 亀岡消防署に救助隊を創設
	26日	平成8年第2回組合議会臨時会を開催
平成9年		
1月	1日	亀岡消防署はしご付消防ポンプ自動車の運用を開始
	28日	美山出張所の消防ポンプ自動車CD-I型を更新
2月	28日	平成9年2月組合議会定例会を開催
3月	10日	広報紙「京都中部しょうぼう」第8号刊行
	28日	丹波出張所の救急自動車II B型を更新
4月	1日	職員5人を採用（職員数174人）
5月	9日	平成9年第1回組合議会臨時会を開催
	28日	第10回消防救助技術訓練大会を開催（28・29日）
7月	31日	山岳救助用資器材を園部消防署に配備
8月	1日	全国高校総合体育大会の警備を実施（～15日）
	6日	丹波出張所の連絡車を更新
	23日	防災講演会「勇気のなかに」を開催
9月	19日	消防本部屋外訓練場舗装工事完了
9月	30日	簡易画像探索機を亀岡消防署に配備

10月	1日	救助隊が初の野営訓練を実施（～2日朝）
	27日	平成9年10月組合議会定例会を開催
11月	5日	消防組合設立15周年・消防本部発足40周年記念「管理者総合査閲」を実施
	6日	幼年消防北桑田・船井地区大会を開催（園部町）
	17日	園部消防署に高規格救急自動車を配備
	20日	近畿府県合同防災訓練に参加（宮津市、精華町）
12月	1日	園部消防署高度救急業務を開始
	15日	八木出張所の消防ポンプ自動車CD-I型を更新
	25日	平成9年第2回組合議会臨時会を開催
平成10年		
2月	1日	自治体消防50周年京都府大会に参加
	26日	平成10年2月組合議会定例会を開催
3月	25日	広報紙「京都中部しょうぼう」第9号刊行
4月	1日	自動車・携帯電話からの119番受信接続開始
5月	27日	第11回消防救助技術訓練大会を開催
6月	22日	美山出張所の連絡車を更新
8月	6日	第27回消防救助技術東近畿地区指導会、はしご登はんの部・ほふく救出の部で優勝
	28日	第27回全国消防救助技術大会はしご登はんの部・ほふく救出の部で入賞
10月	21日	平成10年10月組合議会定例会を開催
	30日	30日、31日に緊急消防援助隊近畿、中部ブロック合同訓練（福井県 テクノポート福井）に参加
11月	6日	母と子の防火のつどいを開催（亀岡市）
	13日	東分署に高規格救急自動車を配備
12月	1日	東分署高度救急業務を開始
	25日	平成10年第1回組合議会臨時会を開催
	27日	東分署の消防ポンプ自動車CD-I型を更新
平成11年		
1月	14日	地震を想定した職員非常招集訓練を実施
2月	26日	平成11年2月組合議会定例会を開催
	28日	園部消防署・京北・八木・日吉町消防団合同林野火災防ぎょ訓練実施
3月	1日	防災講演会「地域における地震防災対策」を開催
	31日	広報紙「京都中部しょうぼう」を「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」に改名第10号を刊行
4月	1日	職員5人を採用（職員数174人）
6月	2日	第12回消防救助技術訓練大会を開催
7月	20日	船井郡園部町内で、京都中部広域消防組合管内の全消防団合同による水防訓練を開催
8月	5日	平成11年第1回組合議会臨時会を開催
	23日	京北出張所の連絡車を更新
10月	18日	平成11年10月組合議会定例会を開催
	28日	高度救助用資機材を亀岡消防署に配備
11月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第11号刊行
	9日	幼年消防北桑田・船井地区大会を開催（美山町）
	11日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（大阪府堺市）に参加
	29日	亀岡消防署の水槽付消防ポンプ自動車I-B型を更新
12月	24日	平成11年第2回組合議会臨時会を開催
平成12年		
2月	28日	平成12年2月組合議会定例会を開催
3月	7日	防災講演会「地域における地震防災対策」を開催
	9日	園部消防署の指令車を更新

4月	1日	救急要請受信時における応急手当口頭指導要綱を制定し、受信時の口頭指導を開始
5月	15日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第12号を刊行
6月	8日	第13回消防救助技術訓練大会を開催
10月	30日	平成12年10月組合議会定例会を開催
11月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第13号を刊行
	7日	母と子の防火のつどいを開催（亀岡市）
	8日	丹波出張所に高規格救急自動車を配備
12月	1日	丹波出張所高度救急業務を開始
	5日	亀岡消防署にて警防技術向上訓練を実施
	26日	平成12年第1回組合議会臨時会を開催
平成13年		
2月	20日	消防本部の指令車を更新
	28日	平成13年2月組合議会定例会を開催
3月	7日	防災講演会「京都中部地域の地震発生の特徴と震災予防」を開催
	13日	園部消防署にて警防技術向上訓練を実施
4月	1日	職員3人を採用（職員数174人）
5月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第14号を刊行
	30日	第14回消防救助技術訓練大会を開催
8月	6日	園部消防署の指令広報車を更新
	24日	亀岡消防署に警防査察車を配備
	28日	亀岡消防署に高圧噴霧放水銃を配備
	29日	亀岡消防署に防火広報車を配備
9月	1日	聴覚障害者緊急通報FAX運用要綱を制定し運用を開始
10月	3日	東分署の連絡車を更新
	29日	平成13年10月組合議会定例会を開催
11月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第15号を刊行
	6日	幼年消防北桑田・船井地区大会を開催（園部町）
	26日	丹波広域基幹林道旧深見峠付近にて、園部消防署と関係機関合同で山岳救助訓練を実施
12月	4日	4日・5日の両日に、消防本部主催の消防活動技術向上訓練を実施
	26日	平成13年第1回組合議会臨時会を開催
平成14年		
2月	28日	昨年の保津川遊船の座礁事故を教訓に、亀岡消防署と関係機関合同で保津川遊船転覆事故救助訓練を実施
	28日	平成14年2月組合議会定例会を開催
3月	7日	防災講演会「災い転じて福としよう」を開催
	25日	亀岡消防署の高規格救急自動車を更新
4月	1日	職員6人を採用（職員数174人）
5月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第16号を刊行
	27日	第15回消防救助技術訓練大会を開催
7月	26日	平成14年第1回組合議会臨時会を開催
9月	7日	京都府総合防災訓練に参加（亀岡市）

消防組合設立20周年

10月	1日	消防組合設立20周年記念式典を挙行
10月	1日	「組合設立20年のあゆみ」を刊行
	22日	平成14年10月組合議会定例会を開催
11月	6日	八木出張所の連絡車を更新
	7日	幼年消防亀岡地区防火のつどい（亀岡市）
	20日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練に京都府隊として参加（徳島県小松島市・阿南市）

	11月	26日	防災講演会「巨大地震と京都中部地域の防災」を開催
		28日	亀岡消防署の指令車を更新
	12月	1日	八木出張所に高規格救急自動車を配備し、高度救急業務を開始
			広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第17号を刊行
		25日	平成14年第2回組合議会臨時会を開催
平成15年			
	1月	1日	園部消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新し、運用開始
	2月	21日	平成15年2月組合議会定例会を開催
	4月	17日	京都中部メディカルコントロール協議会発足
	5月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第18号を刊行
		10日	SARS患者搬送、SARS問題の対応を実施
		26日	第16回消防救助技術訓練大会を開催
	7月	11日	平成15年第1回組合議会臨時会を開催
		29日	防災講演会「“イザ”という時の心構え」を開催
	10月	27日	平成15年10月組合議会定例会を開催
		30日	幼年消防北桑田・船井地区大会を開催（園部町）
	11月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第19号を刊行
		27日	平成15年第2回組合議会臨時会を開催
	12月	15日	亀岡消防署の救助工作車（Ⅲ型）を更新
平成16年			
	2月	1日	予防・警防システムを導入
		26日	平成16年2月組合議会定例会を開催
		27日	丹波町で鳥インフルエンザが発生し、対応を実施
	3月	16日	消防本部庁舎耐震診断・耐震補強設計を実施
		26日	亀岡消防署の消防ポンプ自動車CD-I型を更新
		29日	防火衣を更新（東分署・丹波出張所）
	4月	1日	職員6人を採用（職員数177人）〔条例定数183人〕
	5月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第20号を刊行
		24日	第17回消防救助技術訓練大会を開催
	6月	21日	京都中部メディカルコントロール協議会を南丹メディカルコントロール協議会に名称改正
		23日	防火衣を更新（亀岡消防署本署・園部消防署本署・八木・京北・美山出張所）
	7月	18日	「福井豪雨」に京都府緊急消防援助隊として出動
		22日	園部消防署に警防査察車を配備
	10月	20日	管内全域で台風23号による災害活動を実施
	10月	22日	平成16年10月組合議会定例会を開催
		26日	幼年消防亀岡地区防火のつどいを開催（亀岡市）
	11月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第21号を刊行
平成17年			
	1月	7日	美山出張所に高規格救急自動車を配備し、高度救急業務を開始
	2月	25日	消防庁舎耐震工事を実施
			平成17年2月組合議会定例会を開催
	3月	7日	防災講演会「水害に強いまちづくりを目指して!」を開催
		31日	京北町が消防組合を脱退
	4月	1日	日吉仮出張所を開設
			職員6人を採用（職員数179人）
			緊急消防援助隊に消火隊を登録
	5月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第22号を刊行
		30日	第18回消防救助技術訓練大会を開催
	7月	12日	平成17年第1回組合議会臨時会を開催
			消防本部にAED（自動体外式除細動器）及びAEDトレーナー（訓練用）を配備
	8月	25日	消防本部に消火・通報訓練指導車を配備（日本宝くじ協会寄贈）
	9月	30日	消防本部屋外訓練場舗装工事完了

平成 18 年	10 月	5 日	平成 17 年 10 月組合議会定例会を開催
		11 日	京丹波町（丹波町、瑞穂町及び和知町が合併）が誕生 京都中部広域消防組合・綾部市消防相互応援協定を締結
平成 19 年	11 月	1 日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 23 号を刊行
		8 日	幼年消防北桑田・船井地区大会を開催（和知町）
		21 日	防災講演会「7.18 福井豪雨の検証」を開催
		28 日	平成 17 年第 2 回組合議会臨時会を開催
	12 月	16 日	園部消防署にはしご付消防ポンプ自動車（15m級）を配備
	1 月	1 日	南丹市（美山町、園部町、八木町及び日吉町が合併）が誕生 京都市・京都中部広域消防組合・南丹市消防相互応援協定を締結 亀岡消防署八木出張所を市町村合併に伴い、園部消防署に所属変更 組合議員定数を 16 人に改正
		21 日	園部消防署日吉出張所新庁舎建設工事着工
	3 月	29 日	平成 18 年 3 月組合議会定例会を開催 消防無線基地を整備 船岡前進基地局を新設 本部基地局・美山前進基地局・田歌前進基地局の無線機器を更新 丹波前進基地局・和知前進基地局を廃止
	4 月	1 日	職員 6 人を採用（職員数 176 人） 緊急消防援助隊に特殊装備隊を登録
	5 月	1 日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 24 号を刊行
	31 日	第 19 回消防救助技術訓練大会を開催	
7 月	12 日	平成 18 年第 1 回組合議会臨時会を開催	
	31 日	園部消防署日吉出張所竣工	
8 月	1 日	園部消防署日吉出張所開所	
10 月	27 日	平成 18 年 10 月組合議会定例会を開催	
11 月	1 日	防災講演会「自助・共助・公助について」を開催 広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 25 号を刊行	
	7 日	幼年消防亀岡地区防火のつどいを開催（亀岡市）	
12 月	18 日	丹波出張所の消防ポンプ自動車 CD-I 型を更新	
1 月	29 日	亀岡消防署、園部消防署に AED（自動体外式除細動器）及び AED トレーナー（訓練用）を配備	
2 月	27 日	平成 19 年 2 月組合議会定例会を開催 組合議員定数を 10 人に改正	
3 月	30 日	日吉出張所に高規格救急自動車を配備し、高度救急業務を開始	
4 月	1 日	会計管理者を設置 消防組合に会計課を設置 職員 5 人を採用（職員数 178 人）	
5 月	1 日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 26 号を刊行	
	17 日	自動体外式除細動器（AED）を整備（救助用車両に積載）	
	31 日	第 20 回消防救助技術訓練大会を開催	
7 月	1 日	山岳救助隊を発足	
	9 日	平成 19 年第 1 回組合議会臨時会を開催	
	22 日	第 36 回全国消防救助技術大会はしご登はんの部で入賞	
10 月	9 日	平成 19 年 10 月組合議会定例会を開催	
11 月	1 日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 27 号を刊行	
	9 日	幼年消防南丹船井地区大会を開催（南丹市日吉町）	
	21 日	亀岡消防署の高規格救急自動車を更新	
12 月	18 日	園部消防署の消防ポンプ自動車 CD-I 型を更新	
	20 日	ホームページを開設し、運用開始	
	25 日	平成 19 年第 2 回組合議会臨時会を開催	

平成 20 年

1 月	1 日	消防緊急通信指令システムを部分改修し、運用開始
2 月	1 日	消防庁舎 LAN を整備し、運用開始
	13 日	日本損害保険協会から寄贈を受け、園部消防署の高規格救急自動車を更新
	25 日	平成 20 年 2 月組合議会定例会を開催
3 月	11 日	消防本部・亀岡消防署の訓練場用地を取得 (999.14 m ²)
4 月	1 日	職員 8 人を採用 (職員数 180 人)
5 月	1 日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 28 号を刊行
	27 日	第 21 回消防救助技術訓練大会を開催
7 月	18 日	平成 20 年第 1 回組合議会臨時会を開催
8 月	30 日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練に参加 (大阪府岸和田市)
9 月	13 日	京都縦貫自動車道綾部宮津道路及び丹波綾部道路の開通に伴い、綾部市、舞鶴市、宮津与謝消防組合との間に京丹波わちインターチェンジから宮津天橋立インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定を締結
10 月	1 日	消防組合例規集をデータ化し、システムの運用開始
	28 日	防災講演会「今、心配される地震」を開催
	29 日	平成 20 年 10 月組合議会定例会を開催
11 月	1 日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 29 号を刊行
	10 日	幼年消防亀岡地区防火のつどいを開催 (亀岡市)
	13 日	山岳救助隊旗を園部消防署へ配置
	30 日	消防本部庁舎の外壁補修及び防水工事を実施
12 月	10 日	日吉出張所の消防ポンプ自動車 CD-I 型を更新

平成 21 年

2 月	26 日	平成 21 年 2 月組合議会定例会を開催
3 月	22 日	消防本部・亀岡消防署の訓練場等 (999.14 m ²) の竣工祭を実施
4 月	1 日	職員 2 人を採用 (職員数 180 人)
4 月	22 日	南丹警察署と合同山岳救助訓練を実施
5 月	1 日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 30 号を刊行
	25 日	平成 21 年第 1 回組合議会臨時会を開催
	29 日	第 22 回消防救助技術訓練大会を開催
7 月	10 日	亀岡消防署に女性専用室を設置
	30 日	丹波出張所の連絡車を更新
8 月	7 日	水難救助用ゴムボートを園部消防署に配備
9 月	5 日	京都府防災訓練に参加 (京丹波町)
10 月	22 日	幼年消防南丹船井地区大会を開催 (京丹波町)
	29 日	平成 21 年 10 月組合議会定例会を開催
11 月	1 日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 31 号を刊行
	26 日	平成 21 年第 2 回組合議会臨時会を開催 (26 日～30 日)
12 月	1 日	東分署及び丹波出張所の高規格救急自動車を更新
	4 日	丹波出張所の消防ポンプ自動車 CD-I 型 (水槽付) を更新
	10 日	亀岡消防署に配備の高度救助用資機材を更新

平成 22 年

2 月	26 日	平成 22 年 2 月組合議会定例会を開催
4 月	1 日	職員 4 人を採用 (職員数 183 人)
		緊急消防援助隊に救急隊を登録
	17 日	京都府、兵庫県及び鳥取県の共同によるドクターヘリ運航開始
5 月	1 日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 32 号を刊行
	28 日	第 23 回消防救助技術訓練大会を開催
6 月	23 日	平成 22 年第 1 回組合議会臨時会を開催
	29 日	東分署車庫にシャッターを設置
9 月	16 日	園部消防署に女性職員専用室を設置
10 月	1 日	消防緊急通信指令システムに統合型位置情報通知装置の運用開始

10月	12日	京都府・京都市国民保護共同訓練に参加
	29日	平成22年10月組合議会定例会を開催
11月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第33号を刊行
	5日	防災講演会「洪水による被害と日頃の備え」を開催
	9日	幼年消防亀岡地区防火のつどいを開催（亀岡市）
	25日	美山出張所の消防ポンプ自動車CD-I型（水槽付）を更新
	29日	平成22年第2回組合議会臨時会を開催
12月	2日	園部消防署敷地舗装工事完了
平成23年		
	2月	25日 平成23年2月組合議会定例会を開催
	3月	11日 東日本大震災の救援活動に緊急消防援助隊京都府隊として救助隊を派遣（～4月2日）
		15日 消防救急無線デジタル化に伴う電波伝搬調査及び基本設計を完了
4月	1日	消防本部に指令課を新設 亀岡消防署東分署に救急係を新設
5月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第34号を刊行
7月	8日	平成23年第1回組合議会臨時会を開催 エアータントを園部消防署に配備
8月	12日	日吉出張所の連絡車を更新
9月	9日	高圧ガス製造設備を更新
10月	2日	南丹市総合防災訓練に参加
	31日	平成23年10月組合議会定例会を開催
11月	1日	亀岡消防署東分署の化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を更新 広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第35号を刊行
	10日	幼年消防南丹船井地区大会を開催（京丹波町）
	25日	園部消防署庁舎車庫にシャッターを設置
	28日	平成23年第2回組合議会臨時会を開催
12月	7日	亀岡消防署東分署の消防ポンプ自動車CD-I型を更新
平成24年		
	2月	29日 平成24年2月組合議会定例会を開催 定数条例の一部改正 消防緊急通信指令システム更新に係る実施設計完了
4月	1日	職員7人を採用（職員数186人）
5月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」36号を刊行
	23日	第24回消防救助技術訓練大会を開催
	28日	平成24年第1回組合議会臨時会を開催
6月	1日	職員1人を採用（職員数186人）
	8日	全国瞬時警報システムを整備
8月	9日	エアータントを亀岡消防署に配備
	10日	大阪府ドクターヘリ運航要請開始
9月	19日	資機材搬送車を更新

消防組合設立30周年

10月	15日	園部消防署八木出張所の高規格救急自動車を更新
	24日	平成24年10月組合議会定例会を開催
11月	6日	幼年消防亀岡地区防火のつどいを開催（亀岡市）



11月 7日 消防組合設立 30 周年記念式典を挙行
「組合設立 30 年のあゆみ」を刊行



平成 25 年

2月 26日 平成 25 年 2 月組合議会定例会を開催
3月 1日 高機能消防指令システムの運用開始
4月 1日 職員 4 人を採用（職員数 184 人）
21日 京都縦貫自動車道（大原野インターチェンジから篠インターチェンジまで）消防
相互応援に関する申合せ書を締結
6月 6日 第 25 回消防救助技術訓練大会を開催
6月 28日 平成 25 年第 1 回組合議会臨時会を開催
7月 17日 JR 園部駅列車事故対応訓練を実施
10月 4日 亀岡消防署の査察 1 号車を更新
11月 1日 広報紙「京都中部しょうぼう・あんしん
ダイヤル 119」第 37 号を刊行
7日 幼年消防南丹船井地区大会を開催（南丹
市美山町）
11日 近畿管区広域緊急援助隊合同訓練に参加
園部消防署の防火広報車を更新
15日 亀岡消防署の高規格救急自動車を更新
18日 園部消防署の予防査察車を更新
12月 9日 平成 25 年 12 月組合議会定例会を開催



平成 26 年

2月 20日 防火衣を更新（園部本署・八木・日吉・美山・丹波出張所）
28日 平成 26 年 2 月組合議会定例会を開催
4月 1日 職員 6 人を採用（職員数 187 人）
防災監を設置
高島市・京都中部広域消防組合消防相互応援協定を締結
5月 13日 全国消防長会救急委員会を京都市内にて開催（開催地事務局）
6月 1日 広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 38 号を刊行
3日 第 26 回消防救助技術訓練大会を開催
18日 園部消防署美山出張所の連絡車を更新
7月 7日 平成 26 年第 1 回組合議会臨時会を開催
8月 27日 平成 26 年第 2 回組合議会臨時会を開催
28日 防火衣を更新（亀岡消防署・東分署）
9月 26日 受変電設備の更新
10月 6日 園部消防署美山出張所の高規格救急自
動車を更新
24日 園部消防署指令車を更新
28日 平成 26 年 10 月組合議会定例会を開催
11月 4日 幼年消防亀岡地区防火のつどいを開催
（亀岡市）
12月 25日 平成 26 年第 3 回組合議会臨時会を開催



平成 27 年

2月 27日 平成 27 年 2 月組合議会定例会を開催
4月 1日 職員 5 人を採用（職員数 187 人）

4月	1日	消防救急デジタル無線の運用開始 京都中部広域消防組合・能勢町・亀岡市・豊中市消防相互応援協定を締結	
	28日	京滋ドクターヘリ運航要請開始	
6月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第39号を刊行	
	5日	第27回消防救助技術訓練大会を開催	
7月	18日	京都縦貫自動車道（宮津天橋立インターチェンジから丹波インターチェンジまで）及び宮津与謝道路における消防相互応援協定の締結	
8月	6日	亀岡消防署の防火広報車を更新	
	18日	園部消防署の指令広報車を更新	
	29日	第44回全国消防救助技術大会はしご登はんの部で入賞	
9月	5日	亀岡市総合防災訓練に参加	
10月	13日	平成27年10月組合議会定例会を開催	
	15日	園部消防署丹波出張所の高規格救急車を更新	
11月	12日	幼年消防南丹船井地区大会を開催（南丹市園部町）	
平成28年			
	2月	26日	平成28年2月組合議会定例会を開催
	3月	29日	平成28年第1回組合議会臨時会を開催
	4月	1日	職員7人を採用（職員数191人） 京都中部広域消防組合・亀岡市・箕面市・豊能町消防相互応援協定を締結
		16日	平成28年熊本地震の救援活動に緊急消防援助隊第1次京都府隊として救助隊を派遣
		18日	平成28年熊本地震の救援活動に緊急消防援助隊第2次京都府隊として救助隊を派遣
		21日	平成28年熊本地震の救援活動に緊急消防援助隊第3次京都府隊として救助隊を派遣
			
			
5月	24日	第28回消防救助技術訓練大会を開催	
6月	1日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第40号を刊行	
	28日	平成28年第2回組合議会臨時会を開催	
10月	22日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（奈良県橿原市）に参加	
	28日	平成28年10月組合議会定例会を開催	
	30日	京都縦貫自動車道（宮津天橋立インターチェンジから丹波インターチェンジまで）及び山陰近畿自動車道（宮津天橋立インターチェンジから京丹後大宮インターチェンジまで）における消防相互応援協定を締結	
11月	8日	幼年消防亀岡地区防火のつどいを開催（亀岡市）	
	18日	亀岡消防署東分署の高規格救急自動車を更新	
	28日	亀岡消防署のはしご付き消防ポンプ自動車を更新	
12月	13日	消防本部・亀岡消防署庁舎の空調設備改修工事を実施	
	26日	平成28年第3回組合議会臨時会を開催	
			

平成 29 年		
2 月	20 日	園部消防署日吉出張所の高規格救急自動車を更新
	24 日	嵯峨野観光鉄道消防訓練を実施
	28 日	平成 29 年 2 月組合議会定例会を開催
4 月	1 日	職員 8 人を採用（職員数 190 人）
5 月	30 日	第 29 回消防救助技術訓練大会を開催
6 月	1 日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 41 号を刊行
	2 日	平成 29 年第 1 回組合議会臨時会を開催
8 月	1 日	亀岡消防署の警防査察車を更新
	31 日	亀岡消防署東分署の連絡車を更新
10 月	27 日	平成 29 年 10 月組合議会定例会を開催
11 月	9 日	幼年消防南丹船井地区大会を開催（南丹市園部町）
11 月	13 日	亀岡消防署の消防ポンプ自動車 C D - I 型（水槽付）を更新
12 月	27 日	平成 29 年第 2 回組合議会臨時会を開催
平成 30 年		
1 月	12 日	園部消防署の高規格救急自動車を更新
	26 日	亀岡消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
2 月	27 日	平成 30 年 2 月組合議会定例会を開催
4 月	1 日	職員 11 人を採用（職員数 194 人） 緊急消防援助隊に消火隊を登録
5 月	29 日	第 30 回消防救助技術訓練大会を開催
6 月	1 日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 42 号を刊行
9 月	13 日	全国瞬時警報システムを更新
	25 日	園部消防署八木出張所の連絡車を更新
10 月	31 日	平成 30 年 10 月組合議会定例会を開催
11 月	7 日	幼年消防亀岡地区防火のつどいを開催（亀岡市）
12 月	11 日	亀岡消防署の高規格救急自動車を更新
	27 日	平成 30 年第 1 回組合議会臨時会を開催
平成 31 年		
2 月	28 日	平成 31 年 2 月組合議会定例会を開催
4 月	1 日	職員 4 名を採用（職員数 187 名）
令和元年		
5 月	13 日	水難事故対応訓練を実施
	28 日	亀岡警察署と合同テロ訓練を実施
	30 日	第 31 回消防救助技術訓練大会を開催
6 月	1 日	広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル 119」第 43 号を刊行 119 番通報等多言語同時通訳事業の運用開始
9 月	29 日	南丹市総合防災訓練に参加
10 月	1 日	Net119 緊急通報システムの運用開始
	30 日	令和元年 10 月組合議会定例会を開催
11 月	8 日	幼年消防南丹船井地区大会を開催（南丹市八木町）
12 月	25 日	令和元年第 1 回組合議会臨時会を開催



令和2年

1月 15日
2月 3日

近畿管区広域緊急援助隊合同訓練に参加
京都スタジアム（サンガスタジアム by KYOCERA）消防訓練を実施



26日 令和2年2月組合議会定例会を開催
4月 1日 職員9人を採用（職員数189人）
5月 26日 令和2年第1回組合議会臨時会を開催
6月 1日 広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第44号を刊行
10月 1日 「救急安心センターきょうと」の運用開始
30日 令和2年10月組合議会定例会を開催
11月 9日 京都府中・北部地域消防指令事務協議会発足
17日 園部消防署八木出張所の高規格救急自動車を更新
12月 7日 園部消防署の水槽付消防ポンプ自動車I-B型を更新



令和3年

2月 22日
4月 1日
5月 25日
6月 1日
15日
8月 26日
10月 29日

令和3年2月組合議会定例会を開催
職員8人を採用（職員数189人）
令和3年第1回組合議会臨時会を開催
広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第45号を刊行
オゾンガス式除染装置を亀岡消防署及び園部消防署に配備
亀岡消防署に救急洗浄室を設置
令和3年10月組合議会定例会を開催

令和4年

1月 21日
2月 16日

園部消防署丹波出張所の高規格救急車を更新
亀岡消防署の救助工作車（Ⅲ型）を更新



2月 28日
4月 1日
5月 27日
6月 1日

令和4年2月組合議会定例会を開催
職員7人を採用（職員数189人）
令和4年第1回組合議会臨時会を開催
広報紙「京都中部しょうぼう・あんしんダイヤル119」第46号を刊行

過去 40 年間における主な災害状況



昭和 57 年 8 月 台風 10 号により氾濫した保津川

昭和 57 年	8 月	管内各地で台風 10 号による被害	
昭和 59 年	4 月	亀岡市西別院町内で林野火災	(3ha 焼失)
昭和 60 年	1 月	八木町地内で建物火災	(5 棟 365 m ² 焼損)
昭和 60 年	3 月	亀岡市馬路町内で建物火災	(3 棟 583 m ² 焼損)
昭和 61 年	12 月	丹波町内で建物火災	(1 棟 312 m ² 焼損)
昭和 63 年	3 月	亀岡市余部町内で建物火災	(1 棟 389 m ² 焼損)
昭和 63 年	12 月	園部町内で建物火災	(5 棟 488 m ² 焼損)
平成元年	4 月	亀岡市本梅町内で建物火災	(2 棟 371 m ² 焼損)
平成 5 年	2 月	亀岡市宮前町内で建物火災	(4 棟 316 m ² 焼損)
平成 5 年	12 月	亀岡市余部町内で建物火災	(14 棟 1,020 m ² 焼損)
平成 6 年	1 月	亀岡市篠町内で建物火災	(4 棟 326 m ² 焼損)
平成 6 年	3 月	亀岡市曾我部町内で林野火災	(23ha 焼失)
平成 7 年	1 月	亀岡市河原林町内で建物火災	(2 棟 293 m ² 焼損)
平成 7 年	1 月	阪神淡路大震災により管内各地で被害	
平成 7 年	5 月	亀岡市余部町内で建物火災	(2 棟 433 m ² 焼損)



昭和 63 年 4 月
亀岡市三郎ヶ岳で発生した山林火災



平成 9 年 6 月
和知町内の山陰本線で軌道敷が崩壊し列車脱線事故が発生

平成 8 年	3 月	美山町内で建物火災	(2 棟	400 m ² 焼損)
平成 8 年	7 月	丹波町内で建物火災	(1 棟	788 m ² 焼損)
平成 8 年	11 月	瑞穂町内で建物火災	(3 棟	1,034 m ² 焼損)
平成 9 年	5 月	京北町内で建物火災	(5 棟	274 m ² 焼損)
平成 9 年	6 月	美山町内で建物火災	(1 棟	449 m ² 焼損)
平成 9 年	8 月	亀岡市北古世町内で建物火災	(9 棟	823 m ² 焼損)
平成 9 年	11 月	美山町内で建物火災	(1 棟	206 m ² 焼損)
平成 10 年	3 月	丹波町内で建物火災	(2 棟	250 m ² 焼損)
平成 10 年	4 月	亀岡市篠町内で建物火災	(3 棟	251 m ² 焼損)
平成 12 年	8 月	八木町内で建物火災	(1 棟	860 m ² 焼損)
平成 13 年	4 月	京北町内で林野火災	(4.5ha 焼損)
平成 13 年	7 月	亀岡市馬路町内で建物火災	(1 棟	257 m ² 焼損)
平成 13 年	12 月	日吉町内で建物火災	(1 棟	426 m ² 焼損)
平成 14 年	3 月	亀岡市東別院町内で林野火災	(4ha 焼損)
平成 14 年	5 月	亀岡市東別院町内で建物火災	(6 棟	410 m ² 焼損 0.1ha 焼損)



平成 12 年 5 月
美山町北（重要伝統的建造物群保存地区）のかやぶきの里民族資料館を焼失



平成 16 年 10 月 台風 23 号による被害

平成 14 年	6 月	亀岡市大井町内でその他火災	(プラスチックパレット 400 枚 焼損)
平成 15 年	1 月	園部町内で建物火災	(2 棟 330 m ² 焼損)
平成 15 年	2 月	亀岡市蕨田野町内で建物火災	(1 棟 296 m ² 焼損)
平成 15 年	4 月	八木町内で建物火災	(2 棟 1,153 m ² 焼損)
平成 15 年	9 月	京北町内で林野火災	(2.6ha 焼損)
平成 16 年	2 月	亀岡市曾我部町内で建物火災	(7 棟 230 m ² 焼損)
平成 16 年	10 月	瑞穂町内で建物火災	(4 棟 282 m ² 焼損)
平成 16 年	10 月	管内各地で台風 23 号による被害	
平成 17 年	4 月	美山町内で建物火災	(4 棟 243 m ² 焼損 2.3ha 焼損)
平成 17 年	8 月	八木町内で建物火災	(1 棟 312 m ² 焼損)
平成 17 年	10 月	美山町内で建物火災	(4 棟 396 m ² 焼損)
平成 17 年	12 月	亀岡市曾我部町内で建物火災	(6 棟 327 m ² 焼損)
平成 17 年	12 月	八木町内で建物火災	(1 棟 2,628 m ² 焼損)
平成 18 年	1 月	京丹波町内で建物火災	(4 棟 375 m ² 焼損)
平成 18 年	2 月	京丹波町内で建物火災	(1 棟 462 m ² 焼損)



平成 16 年 10 月 台風 23 号による被害



平成 23 年 3 月
宮城県本吉郡南三陸町
緊急消防援助隊京都府隊として救助隊を派遣

平成 19 年	1 月	南丹市美山町内で建物火災	(2 棟 257 m ² 焼損)
平成 19 年	11 月	亀岡市畑野町内で建物火災	(4 棟 209 m ² 焼損)
平成 19 年	12 月	亀岡市千代川町内で建物火災	(5 棟 448 m ² 焼損)
平成 21 年	2 月	京丹波町内で建物火災	(6 棟 650 m ² 焼損)
平成 21 年	7 月	京丹波町内で建物火災	(2 棟 344 m ² 焼損)
平成 22 年	8 月	京丹波町内で建物火災	(1 棟 521 m ² 焼損)
平成 22 年	8 月	亀岡市中矢田町内で建物火災	(1 棟 271 m ² 焼損)
平成 22 年	9 月	亀岡市馬路町内で建物火災	(1 棟 366 m ² 焼損)
平成 22 年	10 月	亀岡市河原町内で建物火災	(3 棟 343 m ² 焼損)
平成 23 年	1 月	南丹市日吉町内で建物火災	(2 棟 276 m ² 焼損)
平成 23 年	2 月	京丹波町内で建物火災	(3 棟 255 m ² 焼損)
平成 23 年	5 月	京丹波町内で建物火災	(1 棟 662 m ² 焼損)
平成 23 年	8 月	南丹市八木町内で建物火災	(1 棟 1,357 m ² 焼損)
平成 24 年	1 月	亀岡市追分町内で建物火災	(1 棟 325 m ² 焼損)



平成 23 年 6 月
亀岡市馬路町三郎ヶ岳山腹
滑落事故で京都市消防局航空隊と連携し救助



平成 25 年 9 月 台風 18 号による被害
JR 亀岡駅など管内各地で浸水害が発生

平成 25 年	8 月	亀岡市篠町内で建物火災	(3 棟	269 m ² 焼損)
平成 25 年	9 月	管内各地で台風 18 号による被害		
平成 25 年	11 月	亀岡市篠町内で建物火災	(4 棟	226 m ² 焼損)
平成 25 年	12 月	南丹市日吉町内で建物火災	(1 棟	488 m ² 焼損)
平成 26 年	12 月	亀岡市古世町内で建物火災	(2 棟	201 m ² 焼損)
平成 27 年	3 月	亀岡市曾我部町内で建物火災	(4 棟	249 m ² 焼損)
平成 27 年	5 月	亀岡市千歳町内で建物火災	(3 棟	656 m ² 焼損)
平成 28 年	2 月	亀岡市保津町内で建物火災	(1 棟	258 m ² 焼損)
平成 28 年	3 月	亀岡市西別院町内で建物火災	(4 棟	438 m ² 焼損)
平成 29 年	1 月	亀岡市保津町内で建物火災	(2 棟	236 m ² 焼損)
平成 29 年	5 月	亀岡市河原林町内で建物火災	(3 棟	286 m ² 焼損)
平成 29 年	5 月	京丹波町内で建物火災	(2 棟	226 m ² 焼損)
平成 29 年	6 月	南丹市園部町内で建物火災	(7 棟	202 m ² 焼損)
平成 29 年	6 月	南丹市日吉町内で建物火災	(5 棟	321 m ² 焼損)
平成 30 年	1 月	亀岡市曾我部町内で建物火災	(4 棟	295 m ² 焼損)



平成 28 年 3 月
熊本地震の救援活動に緊急消防援助京都府隊として救助隊を派遣



平成 30 年 7 月 豪雨による被害

平成 30 年	7 月	管内各地で豪雨による被害		
平成 30 年	9 月	南丹市美山町内で建物火災	(4 棟	302 m ² 焼損)
平成 30 年	9 月	管内各地で台風 21 号による被害		
平成 30 年	12 月	南丹市園部町内で建物火災	(1 棟	240 m ² 焼損)
平成 31 年	2 月	亀岡市篠町内で建物火災	(4 棟	330 m ² 焼損)
平成 31 年	3 月	京丹波町内で建物火災	(1 棟	591 m ² 焼損)
令和元年	6 月	亀岡市東別院町内で建物火災	(2 棟	302 m ² 焼損)
令和元年	6 月	亀岡市千代川町内で建物火災	(1 棟	1,925 m ² 焼損)
令和元年	10 月	南丹市八木町内で建物火災	(3 棟	229 m ² 焼損)
令和元年	11 月	南丹市美山町内で建物火災	(7 棟	275 m ² 焼損)
令和 2 年	2 月	京丹波町内で建物火災	(5 棟	229 m ² 焼損)
令和 2 年	2 月	亀岡市篠町内で建物火災	(1 棟	216 m ² 焼損)
令和 2 年	3 月	亀岡市蕨田野町内で林野火災	(2.7ha 焼損)
令和 2 年	7 月	亀岡市大井町内で建物火災	(1 棟	351 m ² 焼損)
令和 4 年	1 月	亀岡市東別院町内で建物火災	(1 棟	364 m ² 焼損)
令和 4 年	4 月	亀岡市千歳町内で建物火災	(1 棟	259 m ² 焼損)
令和 4 年	5 月	南丹市園部町内で建物火災	(3 棟	414 m ² 焼損)
令和 4 年	6 月	南丹市園部町内で建物火災	(2 棟	210 m ² 焼損)



平成 30 年 9 月 台風 21 号による被害

総務編

消防予算(令和4年度一般会計当初予算)

歳入

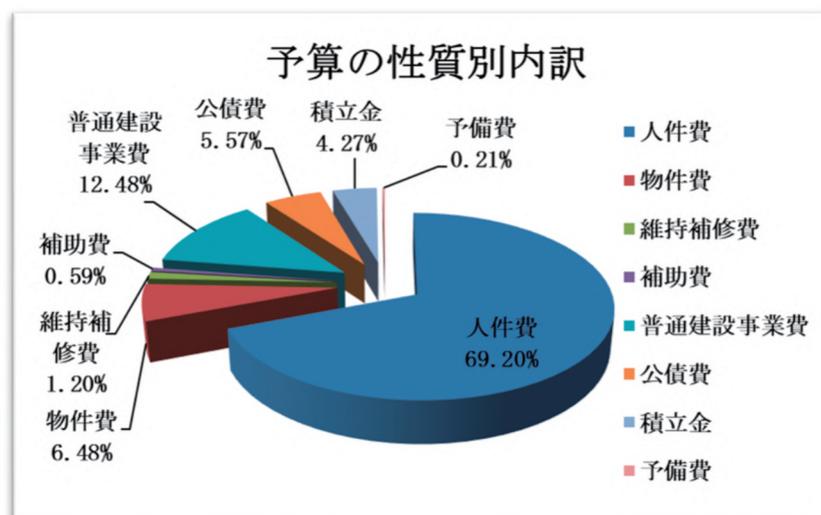
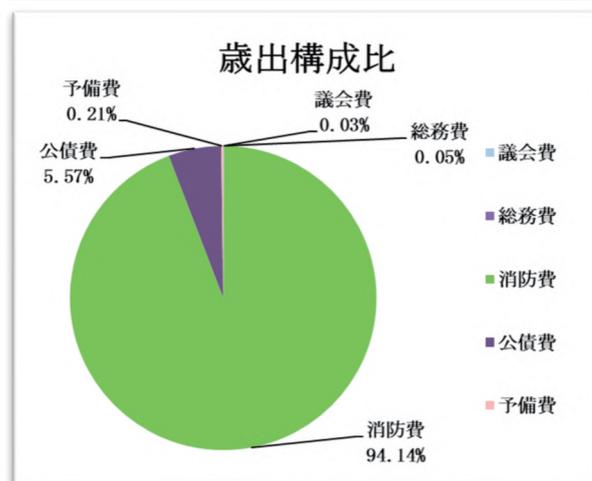
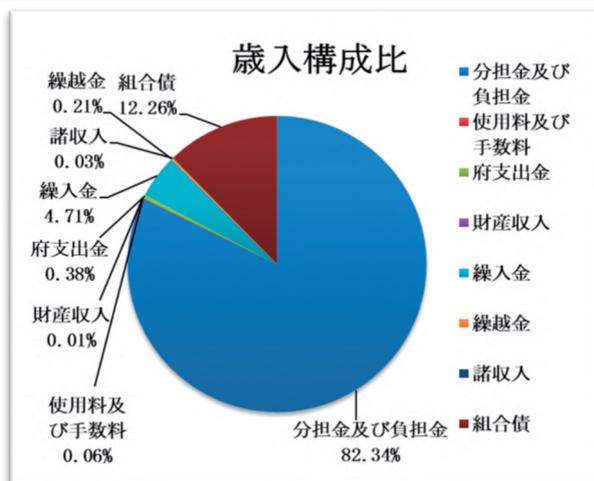
(単位 千円)

款 別	本年度	構成比(%)
1 分担金及び負担金	1,931,505	82.34
2 使用料及び手数料	1,300	0.06
3 国庫支出金	0	0
4 府支出金	9,000	0.38
5 財産収入	160	0.01
6 繰入金	110,434	4.71
7 繰越金	5,000	0.21
8 諸収入	601	0.03
9 組合債	287,700	12.26
合 計	2,345,700	100.00

歳出

(単位 千円)

款 別	本年度	構成比(%)
1 議会費	722	0.03
2 総務費	1,109	0.05
3 消防費	2,208,174	94.14
4 公債費	130,695	5.57
5 予備費	5,000	0.21
合 計	2,345,700	100.00



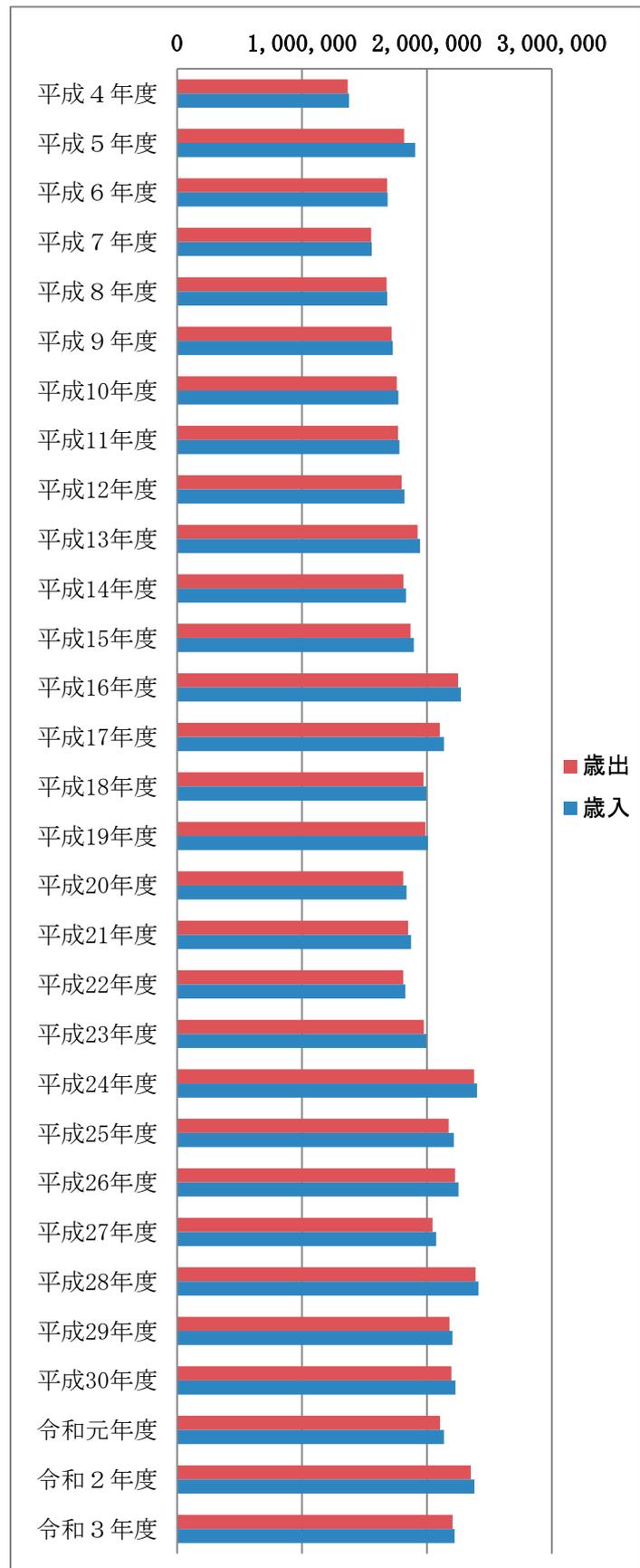
性質別	本年度予算
人件費	1,623,128 千円
物件費	152,078 千円
維持補修費	28,027 千円
補助費	13,875 千円
普通建設事業費	292,815 千円
公債費	130,695 千円
積立金	100,082 千円
予備費	5,000 千円
合計	2,345,700 千円

一般会計歳入歳出決算額の推移

(過去30年間)

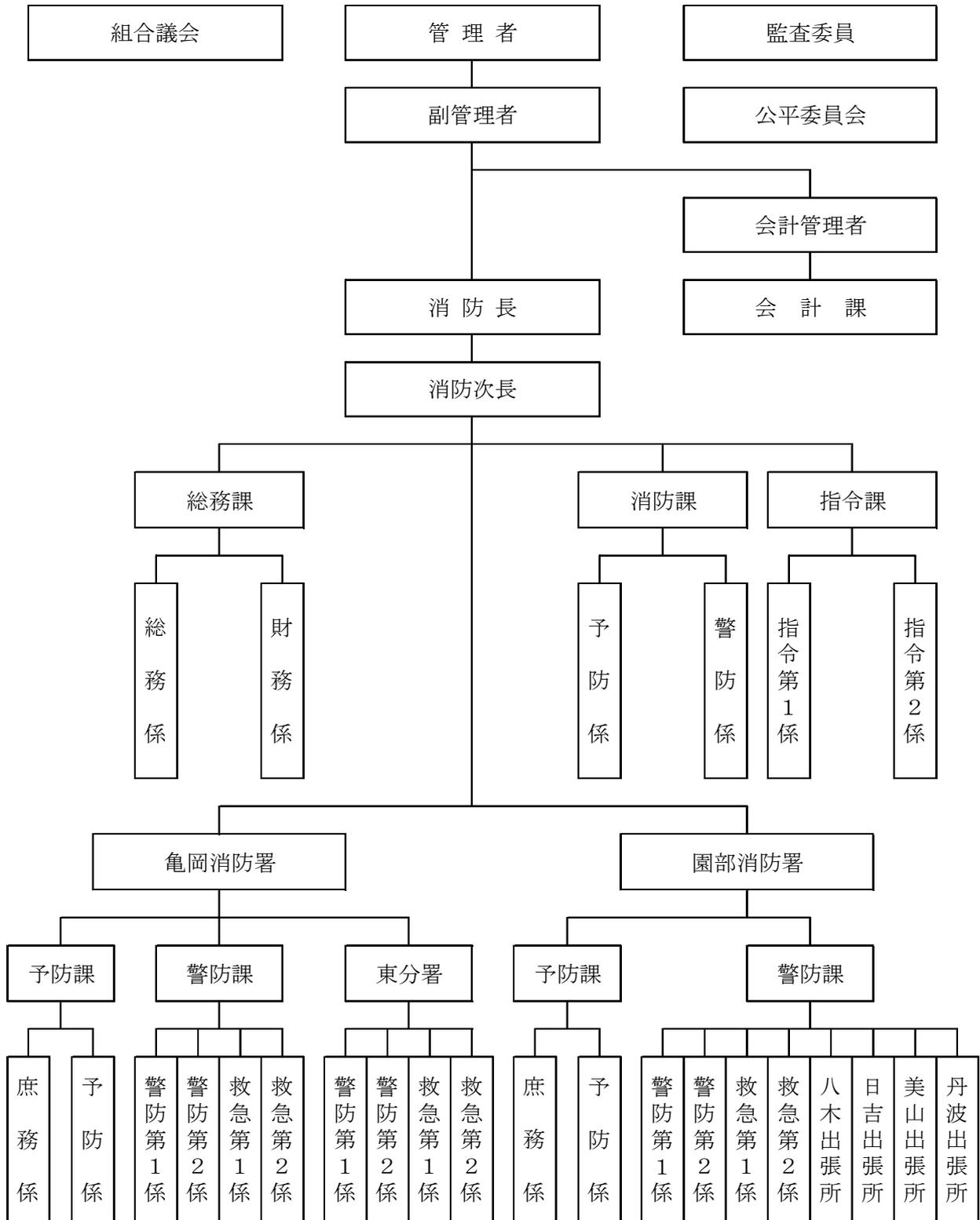
(単位：千円)

区分	歳入	歳出
平成4年度	1,376,365	1,365,745
平成5年度	1,905,911	1,817,390
平成6年度	1,685,397	1,680,754
平成7年度	1,557,921	1,554,130
平成8年度	1,681,805	1,676,905
平成9年度	1,726,174	1,717,007
平成10年度	1,772,129	1,758,994
平成11年度	1,780,351	1,768,245
平成12年度	1,819,988	1,797,517
平成13年度	1,945,118	1,925,115
平成14年度	1,831,713	1,811,171
平成15年度	1,894,717	1,868,698
平成16年度	2,271,391	2,249,559
平成17年度	2,136,352	2,102,925
平成18年度	1,994,450	1,971,717
平成19年度	2,007,846	1,987,260
平成20年度	1,836,668	1,809,737
平成21年度	1,873,015	1,849,912
平成22年度	1,826,297	1,810,540
平成23年度	1,995,849	1,975,535
平成24年度	2,401,309	2,377,666
平成25年度	2,216,312	2,173,996
平成26年度	2,253,459	2,225,003
平成27年度	2,073,764	2,044,852
平成28年度	2,413,373	2,389,232
平成29年度	2,203,927	2,180,429
平成30年度	2,228,201	2,196,255
令和元年度	2,136,341	2,105,215
令和2年度	2,379,974	2,351,608
令和3年度	2,221,930	2,205,128



消防組合の組織機構

(令和4年4月1日現在)



消防本部署所の配置



消防庁舎の現況

(令和4年4月1日現在)

区分	所在地	構造	建築(取得) 年月日	敷地面積 (㎡)	建築延面積 (㎡)
消防本部 亀岡消防署	亀岡市荒塚町1丁目 9番1号	鉄筋コンクリート造 3階建	S54.7.31	2,478.23	1,831.54
東分署	亀岡市篠町篠 向谷5番地の1	鉄筋コンクリート造 2階建	H6.12.21	1,871.29	1,035.43
園部消防署	南丹市園部町上木崎町 大將軍19番地2	鉄筋コンクリート造 2階建	S57.9.20	2,865.66	843.34
八木出張所	南丹市八木町八木 河原20番地30	鉄筋コンクリート造 2階建	S59.3.30	559.91	267.00
日吉出張所	南丹市日吉町胡麻 イカガヘラ13番地9	鉄筋コンクリート造 2階建	H18.7.26	1,293.60	365.04
美山出張所	南丹市美山町静原 石橋8番地	鉄筋コンクリート造 2階建	S57.9.20	688.63	268.11
丹波出張所	船井郡京丹波町富田 長野40番地3	鉄筋コンクリート造 2階建	S57.9.20	609.77	268.11
訓練場	亀岡市荒塚町1丁目 18番4	—————	S59.3.31	1,228.47	—————
訓練場等	亀岡市荒塚町1丁目 29番1	—————	H20.3.11	999.14	—————

消防用車両の現勢

(令和4年4月1日現在)

車両別 署所別	ポンプ車	タンク車	化学車	はしご車	救助工作車	高規格救急車	指令車	査察車	広報車	連絡車	資機材搬送車	非常用消防車	訓練指導車	消防通車	非常用救急車	合計
消防本部							1				1		1			3
亀岡消防署	2	1	1	1	1	2	1	3	1	1		1			1	16
本署	1	1		1	1	1	1	3	1			1			1	12
東分署	1		1			1				1						4
園部消防署	5	1		1		5	1	1	2	4		1			1	22
本署	1	1		1		1	1	1	2			1			1	10
八木出張所	1					1				1						3
日吉出張所	1					1				1						3
美山出張所	1					1				1						3
丹波出張所	1					1				1						3
合計	7	2	1	2	1	7	3	4	3	5	1	2	1		2	41

※ 亀岡消防署本署、美山出張所及び丹波出張所のポンプ車は、水槽付き

職員数の推移

(単位：人)

区分	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副長	消防士	合計	条例定数
昭和 57 年度	1	3	3	17	13	9	63	109	132
昭和 58 年度	1	5	3	24	15	21	47	116	132
昭和 59 年度		5	2	23	17	22	45	114	132
昭和 60 年度	1	4	4	21	22	22	51	125	132
昭和 61 年度	1	4	4	22	23	34	44	132	132
昭和 62 年度	1	4	5	23	23	38	38	132	132
昭和 63 年度	1	4	5	24	29	45	24	132	168
平成 元 年度	1	4	5	26	39	41	27	143	168
平成 2 年度	1	4	8	26	41	39	23	142	168
平成 3 年度	1	4	11	26	43	39	17	141	168
平成 4 年度	1	3	12	29	44	41	16	146	168
平成 5 年度	1	3	17	35	40	33	38	167	168
平成 6 年度	1	3	17	35	40	32	40	168	168
平成 7 年度	1	5	18	43	40	27	34	168	168
平成 8 年度	1	4	17	45	42	27	29	165	174
平成 9 年度	1	4	18	50	41	22	38	174	174
平成 10 年度	1	3	16	50	41	22	38	171	174
平成 11 年度	1	3	17	51	41	25	36	174	174
平成 12 年度	1	5	17	55	39	31	25	173	174
平成 13 年度	1	5	24	55	37	36	16	174	174
平成 14 年度	1	5	24	60	30	35	19	174	174
平成 15 年度	1	7	22	63	37	32	11	173	174
平成 16 年度	1	8	26	60	40	28	14	177	183
平成 17 年度	1	9	25	64	41	21	18	179	183
平成 18 年度	1	7	24	65	39	18	22	176	183
平成 19 年度	1	8	25	68	35	24	17	178	183
平成 20 年度	1	8	23	74	37	17	20	180	183
平成 21 年度	1	9	30	74	31	18	17	180	183
平成 22 年度	1	10	31	75	28	20	17	182	183
平成 23 年度	1	10	34	74	29	19	15	182	183
平成 24 年度	1	9	33	78	29	17	19	186	186
平成 25 年度	1	9	33	81	22	14	23	183	186
平成 26 年度	1	9	37	80	25	14	20	186	189
平成 27 年度	1	9	40	76	23	14	23	186	188
平成 28 年度	1	10	39	74	23	16	26	189	190
平成 29 年度	1	10	38	71	23	18	28	189	190
平成 30 年度	1	10	34	79	20	18	31	193	193
令和 元 年度	1	10	36	70	22	20	28	187	187
令和 2 年度	1	11	34	71	23	18	31	189	192
令和 3 年度	1	11	36	67	27	17	30	189	191
令和 4 年度	1	10	35	68	21	23	31	189	190

職員配置の状況

(令和4年4月1日現在)

所属	区分	職 員							合計
		会計管理者	課長	参事	主幹				
消防組合	会計管理者	(1)							(1)
	会計課		(1)	(1)	(1)				(3)
	合計	(1)	(1)	(1)	(1)				(4)

所属	階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
		消防本部	消防長	1					
	次長		1						1
	総務課		1	1	4	1		7	14
	総務係			1	2		1		4
	財務係			(1)					(1)
	消防課		1	2					3
	予防係			(1)	1				1 (1)
	警防係				1		1		2
	指令課		2	4	4				10
	指令第1係			(1)	1	1	1		3 (1)
	指令第2係			(1)	1	1	1		3 (1)
	小計	1	5	8 (4)	14	3	4	7	42 (4)
亀岡消防署			2						2
	予防課		(1)		1				1 (1)
	庶務係				3	1	(2)	(2)	4 (4)
	予防係			1			1 (2)		2 (2)
	警防課			5	4				9
	警防第1係			(1)	2	2	3	4	11 (1)
	警防第2係			(1)	2	2	3	4	11 (1)
	救急第1係				1	1	1		3
	救急第2係				2			1	3
	東分署			3	2				5
	警防第1係			(1)	1	1	1	2	5 (1)
	警防第2係			(1)	1	1	1	2	5 (1)
	救急第1係				2		1		3
	救急第2係				2		1		3
	小計		2 (1)	9 (4)	23	8	12 (4)	13 (2)	67 (11)
園部消防署			3						3
	予防課		(1)	2					2 (1)
	庶務係			(1)			1 (1)	(1)	1 (3)
	予防係			(1)	2	(2)	(1)	(1)	2 (5)
	警防課		(1)	4	2				6 (1)
	警防第1係			(1)	2	3		1	6 (1)
	警防第2係			(1)	2	2	1	1	6 (1)
	救急第1係				2		1		3
	救急第2係				2			1	3
	八木出張所			3	6	2		2	13
	日吉出張所			3	4		2	2	11
	美山出張所			3	4	1	1	2	11
	丹波出張所			3	5	2	1	2	13
	小計		3 (2)	18 (4)	31	10 (2)	7 (2)	11 (2)	80 (12)
	合計	1	10 (3)	35 (12)	68	21 (2)	23 (6)	31 (4)	189 (27)

※ 派遣受入職員を含む。()内は事務取扱又は兼務を示す。

職員教育・研修実績

(令和4年4月1日現在)

区分	年度	平成	平成	令和	令和	令和
		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
消防大学校	上級幹部科	1				
	総合教育幹部科					
	警防科					1
	予防科		1			
	危険物科					
	救助科			1		1
	火災調査科		1	1		
	新任教官科					
救急振興財団	救急隊員シンポジウム		1			
消防科学総合センター	火災調査技術会議					
京都府立消防学校	初任科	7	10	4	9	8
	初級幹部科		1		1	
	中級幹部科	1		2		1
	上級幹部科					
	専科予防査察科	2	2	1	1	2
	専科危険物科	1	1	1	1	1
	専科救急科	6	7	3	7	8
	専科警防科	1	1	2		
	専科救助科	8	2	1	2	
	専科特殊災害科	1	1	2	1	1
	専科火災調査科	1	1	2		
	消防団指導科		2			
文部科学省登山研修所	山岳遭難救助研修会	1		1		
京都府市町村振興協会	新規採用職員研修	2	2	3	2	4
	新任係長研修	1	2	2		2
	管理職研修	2	1	2	2	18
	法制執務研修	3	3	2	2	5
大阪市消防局	実務研修	1	1	1		
京都市消防局	救急救命士養成課程					
日本臨床救急医学会	日本臨床救急医学会総会			1		1
交通安全施設	緊急自動車運転講習会	2	2	2		2
日本経営協会	行政管理講座	2	2			
日本無線協会	特殊無線技士養成課程	2	2	2	2	

管内人口の推移

(過去30年間)

(単位:人)

年 度	亀岡市	京北町	美山町	園部町	八木町	丹波町	日吉町	瑞穂町	和知町	合計
平成5年度	88,673	7,456	5,593	14,950	10,125	9,093	6,049	5,712	4,333	151,984
平成6年度	90,084	7,457	5,563	14,999	10,078	9,163	6,064	5,665	4,340	153,413
平成7年度	91,372	7,434	5,639	15,514	9,985	9,190	6,107	5,653	4,491	155,385
平成8年度	92,539	7,391	5,628	15,836	9,833	9,219	6,185	5,680	4,411	156,722
平成9年度	93,535	7,338	5,553	15,887	9,753	9,229	6,208	5,652	4,383	157,538
平成10年度	94,090	7,278	5,507	15,884	9,561	9,286	6,245	5,607	4,337	157,795
平成11年度	94,488	7,231	5,501	15,983	9,496	9,184	6,274	5,576	4,279	158,012
平成12年度	95,562	7,116	5,466	16,138	9,486	9,221	6,408	5,604	4,224	159,225
平成13年度	95,890	7,013	5,525	16,199	9,308	9,142	6,333	5,551	4,198	159,159
平成14年度	95,661	6,977	5,466	16,369	9,099	9,069	6,314	5,480	4,159	158,594
平成15年度	95,506	6,912	5,401	16,370	8,997	9,019	6,271	5,400	4,082	157,958
平成16年度	95,489	6,823	5,355	16,279	8,906	8,927	6,197	5,353	4,006	157,335
平成17年度	95,368	--	5,233	16,202	8,802	8,806	6,143	5,272	3,929	149,755

(単位:人)

年 度	亀岡市	南丹市 (園部町、八木町、日吉町、 美山町が合併)	京丹波町 (丹波町、瑞穂町、 和知町が合併)	合計
平成18年度	95,064	36,176	17,775	149,015
平成19年度	94,844	35,749	17,570	148,163
平成20年度	94,611	35,382	17,356	147,349
平成21年度	94,243	34,965	17,124	146,332
平成22年度	93,790	34,691	16,840	145,321
平成23年度	93,393	34,398	16,529	144,320
平成24年度	93,140	34,146	16,343	143,629
平成25年度	92,472	33,987	16,106	142,565
平成26年度	91,910	33,610	15,800	141,320
平成27年度	91,259	33,207	15,405	139,871
平成28年度	90,694	32,748	15,079	138,521
平成29年度	90,107	32,507	14,770	137,384
平成30年度	89,407	32,064	14,416	135,887
令和元年度	88,833	31,742	14,081	134,656
令和2年度	88,182	31,303	13,789	133,274
令和3年度	87,741	30,870	13,484	132,095
令和4年度	87,302	30,597	13,205	131,104

予 防 編

火災予防週間



一日消防署長(亀岡消防署)



一日消防署長(園部消防署)

危険物安全週間



危険物取扱いにおける注意喚起
(亀岡消防署)



危険物安全週間訓練(園部消防署)

文化財の防火



文化財の消火訓練(亀岡消防署)



文化財の消火訓練(園部消防署)

防火七夕



防火七夕会(亀岡消防署)



防火七夕会(園部消防署)

住民の消防体験



自主防災会による防災訓練



移動消防署での訓練体験

講習会等の開催



防火講習会



防火管理講習会

消火訓練



自衛消防隊の消火訓練



自衛消防隊の消火訓練大会

消防検査



危険物の街頭検査



消防用設備等の検査

防火対象物の推移

(過去30年間)

(単位:件)

区 分	亀岡市	京北町	美山町	園部町	八木町	丹波町	日吉町	瑞穂町	和知町	合計
平成4年度	1,293	129	277	346	137	189	77	92	90	2,630
平成5年度	1,322	133	283	363	141	194	83	93	92	2,704
平成6年度	1,437	137	287	394	147	201	88	99	98	2,888
平成7年度	1,503	142	288	410	152	211	91	103	101	3,001
平成8年度	1,570	146	291	433	164	217	94	108	103	3,126
平成9年度	1,612	148	296	455	179	224	100	108	106	3,228
平成10年度	1,782	155	298	466	210	232	107	114	108	3,472
平成11年度	1,791	155	303	473	217	240	115	116	108	3,518
平成12年度	1,847	156	303	477	221	244	117	117	108	3,590
平成13年度	1,814	158	307	492	239	249	117	119	111	3,606
平成14年度	1,835	160	307	503	244	249	118	124	112	3,652
平成15年度	1,848	169	315	517	247	252	127	126	112	3,713
平成16年度	1,853	181	312	534	258	258	126	138	112	3,772

(単位:件)

区 分	亀岡市	南丹市 (園部町、八木町、日吉町、 美山町が合併)	京丹波町 (丹波町、瑞穂町、 和知町が合併)	合計
平成17年度	1,881	1,134	508	3,523
平成18年度	1,892	1,149	535	3,576
平成19年度	1,895	1,183	555	3,633
平成20年度	1,863	1,203	562	3,628
平成21年度	1,959	1,188	506	3,653
平成22年度	1,908	1,236	545	3,689
平成23年度	1,974	1,246	537	3,757
平成24年度	2,004	1,270	549	3,823
平成25年度	2,072	1,287	570	3,929
平成26年度	2,078	1,374	620	4,072
平成27年度	2,101	1,384	632	4,117
平成28年度	2,069	1,364	629	4,062
平成29年度	2,146	1,380	629	4,155
平成30年度	2,061	1,397	622	4,080
令和元年度	2,073	1,400	624	4,097
令和2年度	2,095	1,348	597	4,040
令和3年度	2,116	1,350	599	4,065

危険物施設の推移

(過去30年間)

(単位:件)

区分	製造所	貯蔵所								取扱所					合計
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	貯蔵所計	給油	販売	移送	一般	取扱所計	
平成4年度	2	114	20	10	177		44	7	372	106	1		73	180	554
平成5年度	2	118	20	10	182		44	8	382	110	1		75	186	570
平成6年度	2	117	20	9	185		50	8	389	112	1		73	186	577
平成7年度	2	111	21	9	188		52	8	389	108	1		72	181	572
平成8年度	2	111	20	9	193		53	8	394	112	1		71	184	580
平成9年度	2	110	19	10	196		54	8	397	117	1		71	189	588
平成10年度	3	108	21	10	200		55	8	402	118	1		73	192	597
平成11年度	3	97	22	10	202		56	8	395	111	1		74	186	584
平成12年度	3	94	21	11	212		56	7	401	105	1		77	183	587
平成13年度	3	95	25	11	211		55	7	404	108	1		84	193	600
平成14年度	4	94	27	11	213		55	6	406	107	1		84	192	602
平成15年度	5	90	29	11	211		55	6	402	106	1		80	187	594
平成16年度	4	86	29	10	213		56	6	400	101	1		85	187	591
平成17年度	4	83	29	9	210		54	6	391	97	1		85	183	578
平成18年度	5	81	26	9	200		58	7	381	91	1		83	175	561
平成19年度	5	82	25	9	191		59	7	373	95	1		79	175	553
平成20年度	5	85	25	9	187		60	7	373	94	1		81	176	554
平成21年度	5	84	25	9	181		62	6	367	95	1		79	175	547
平成22年度	5	83	25	9	176		61	6	360	93	1		77	171	536
平成23年度	5	84	24	9	166		60	6	349	91	1		73	165	519
平成24年度	6	81	23	9	157		56	6	332	88	1		69	158	496
平成25年度	6	78	23	6	148		56	6	317	83	1		67	151	474
平成26年度	5	77	22	6	145		59	5	314	81	1		65	147	466
平成27年度	6	78	22	6	145		60	6	317	79	1		65	145	468
平成28年度	6	77	23	6	139		61	6	312	79	1		63	143	461
平成29年度	6	77	23	6	135		63	6	310	80	1		61	142	458
平成30年度	6	77	21	6	132		56	6	298	80	1		55	136	440
令和元年度	6	74	17	5	130		54	6	286	77	1		53	131	423
令和2年度	6	73	17	5	129		51	7	282	77	1		52	130	418
令和3年度	8	80	17	5	127		52	7	288	76	1		52	129	425

警 防 編

警防技術向上訓練



屋内進入



要救助者の救出

消防団指導



京都府消防協会船井支部教育訓練



水防訓練

消防訓練



火災防ぎょ訓練



危険物火災消火訓練

防災訓練



京都府原子力防災訓練



座屈ビル救出訓練

救助訓練



震災救助訓練



交通救助訓練

特殊災害訓練



テロ災害対応訓練



緊急消防援助隊合同訓練

水難救助訓練



ロープを使用した水難救助訓練



ボートを使用した水難救助訓練

山岳救助訓練



斜面引揚げ訓練



雪中訓練

救急の日・救急医療週間



救急広場



住民対象の救急広場の開催

救急活動訓練



DMA Tとの合同訓練



集団救急訓練



救急技術向上訓練



防災訓練における救急活動

ドクターヘリ合同訓練



ドクターヘリの引継ぎ



ドクターヘリで搬送

火災出動件数の推移

(単位:件)

区 分	亀岡市	京北町	美山町	園部町	八木町	丹波町	日吉町	瑞穂町	和知町	管外	合計
昭和 57 年	22				2	3					27
昭和 58 年	15	1		4	1	6	2	4	1		34
昭和 59 年	16	2	1	7	4	3	5	1	3		42
昭和 60 年	19	1	1	4	6	2	1	1	2		37
昭和 61 年	12	4	6	9	4	7	2	1	1		46
昭和 62 年	19	1		6	2			5	2		35
昭和 63 年	13	5		6	3	2	2	2	2		35
平成 元 年	12	3	1		1	3	3	2	2		27
平成 2 年	19	1	1	5		1	2	2	1		32
平成 3 年	19	1	2	4	4	3	1	2	2		38
平成 4 年	24	2	4	4	2	4	1	1	1		43
平成 5 年	25	2	1	6	3	2	4	2			45
平成 6 年	35	1	2	7	5	6	2	1	3		62
平成 7 年	31	3	4	5	1	6	3	4	1		58
平成 8 年	28	1	3	5	4	5		6	1		53
平成 9 年	28	7	4	3	2	6	4	2			56
平成 10 年	19	1	3	5	4	2	2	2	1		39
平成 11 年	30		1	4	1	2	1	2	3		44
平成 12 年	31	5	3	4	4	4	3	5	2		61
平成 13 年	30	5	2	10	2	5	1	4	2		61
平成 14 年	23	2	4	10	2	6	3	2	1		53
平成 15 年	19	1	3	10	2	7	3	6	2		53
平成 16 年	27	3	6	3	1	4	0	7	1		52
平成 17 年	27	5	2	5	4	2	1	3	1		50

区 分	亀岡市	南丹市 (園部町、八木町、日吉町、美山町が合併)	京丹波町 (丹波町、瑞穂町、和知町が合併)	管外	計
平成 18 年	26	14	7		47
平成 19 年	41	12	3		56
平成 20 年	26	14	10		50
平成 21 年	23	8	6		37
平成 22 年	29	15	7		51
平成 23 年	20	9	12		41
平成 24 年	17	10	8		35
平成 25 年	27	6	5		38
平成 26 年	20	2	5		27
平成 27 年	25	13	6		44
平成 28 年	13	4	9		26
平成 29 年	14	11	16		41
平成 30 年	14	18	7		39
令和 元 年	17	12	4		33
令和 2 年	21	9	8		38
令和 3 年	13	9	2		24

備考：昭和 57 年中の亀岡市を除く 8 町の火災出動件数は、10 月 1 日から 12 月 31 日までの件数

救助出動件数の推移

(単位:件)

区 分	亀岡市	京北町	美山町	園部町	八木町	丹波町	日吉町	瑞穂町	和知町	管外	合計
昭和60年	15	1	1	3	3		2		2		27
昭和61年	17			5	5	5		1	2		35
昭和62年	21	2		7	2	8		2	4		46
昭和63年	30			7	2	1	1	5	4		50
平成元年	35	2		6	2	6	3	8	8	2	72
平成2年	32	1	3	15	7	5	1	6	5		75
平成3年	32	2	3	7	8	12	4	12	3	2	85
平成4年	37	2	4	9	2	7	5	9	3		78
平成5年	44	5	1	12	6	12	6	8	7	3	104
平成6年	38	7	1	7	6	8	3	5	4	4	83
平成7年	45	3	6	12	10	7	5	7	5		100
平成8年	44	6	6	13	10	10	4	11	3	2	109
平成9年	63	6	2	13	11	13	6	14	7	1	136
平成10年	49	8	3	10	8	15	3	12	5	2	115
平成11年	43	5	10	14	7	12	6	10	2	1	110
平成12年	54	1	6	18	6	4	7	5	3	3	107
平成13年	48	4	3	12	13	13	7	9	4	3	116
平成14年	35	8	2	5	5	6	7	1	5	3	77
平成15年	34	4	3	5	9	6	7	7	3	3	81
平成16年	36	3	9	11	3	4	5	4	1	2	78
平成17年	31	1	8	5	3	7	4	4	7	1	71

区 分	亀岡市	南丹市 (園部町、八木町、日吉町、美山町が合併)	京丹波町 (丹波町、瑞穂町、和知町が合併)	管外	計
平成18年	40	25	14	1	80
平成19年	29	24	8	2	63
平成20年	33	23	17		73
平成21年	42	25	9	2	78
平成22年	36	19	11	3	69
平成23年	57	23	17	2	99
平成24年	49	27	14	1	91
平成25年	51	29	12	1	93
平成26年	44	23	12		79
平成27年	40	26	15	2	83
平成28年	46	29	14	2	91
平成29年	53	21	5	2	81
平成30年	52	22	14	3	91
令和元年	59	25	12		96
令和2年	63	18	11	1	93
令和3年	66	26	12	2	106

備考：昭和60年より救助出動統計を実施

救急出動件数の推移

(単位:件)

区 分	亀岡市	京北町	美山町	園部町	八木町	丹波町	日吉町	瑞穂町	和知町	管外	合計
昭和 57 年	1,182	35	17	51	36	42	17	9	13		1,402
昭和 58 年	1,303	106	77	230	149	134	77	51	45		2,172
昭和 59 年	1,387	95	116	270	168	150	82	61	60		2,389
昭和 60 年	1,456	121	96	257	192	184	81	76	51	1	2,515
昭和 61 年	1,397	160	106	256	229	183	65	107	57	5	2,565
昭和 62 年	1,506	172	124	288	221	197	88	98	46	8	2,748
昭和 63 年	1,521	147	149	254	231	169	71	105	52	1	2,700
平成元年	1,521	174	125	269	229	170	80	89	57	10	2,724
平成 2 年	1,651	133	105	370	227	196	78	87	48	10	2,905
平成 3 年	1,650	134	119	318	277	204	90	110	51	5	2,958
平成 4 年	1,712	139	148	308	272	196	75	113	40	7	3,010
平成 5 年	1,733	135	131	355	249	193	102	86	64	13	3,061
平成 6 年	1,750	148	127	337	318	237	94	97	54	8	3,170
平成 7 年	1,988	137	142	431	325	213	111	105	51	8	3,511
平成 8 年	2,087	129	135	352	302	234	96	135	46	11	3,527
平成 9 年	2,075	122	148	395	319	249	117	115	62	16	3,618
平成 10 年	2,239	149	147	420	318	233	130	118	59	15	3,828
平成 11 年	2,392	165	213	415	336	244	145	173	37	19	4,139
平成 12 年	2,487	139	197	475	382	282	153	152	75	9	4,351
平成 13 年	2,599	174	193	465	385	294	156	168	80	9	4,523
平成 14 年	2,656	177	190	394	405	282	172	118	114	14	4,522
平成 15 年	2,747	187	228	423	359	253	183	168	109	20	4,677
平成 16 年	2,996	234	243	471	394	285	164	163	95	19	5,064
平成 17 年	3,140	65	271	553	417	320	227	180	121	20	5,314

区 分	亀岡市	南丹市 (園部町、八木町、日吉町、美山町が合併)	京丹波町 (丹波町、瑞穂町、和知町が合併)	管外	計
平成 18 年	3,155	1,395	623	13	5,186
平成 19 年	3,186	1,468	646	15	5,315
平成 20 年	3,117	1,347	633	10	5,107
平成 21 年	3,195	1,377	651	15	5,238
平成 22 年	3,347	1,401	734	27	5,509
平成 23 年	3,587	1,481	809	21	5,898
平成 24 年	3,597	1,624	817	30	6,068
平成 25 年	3,692	1,679	766	35	6,172
平成 26 年	3,726	1,687	834	28	6,275
平成 27 年	3,897	1,730	825	30	6,482
平成 28 年	3,762	1,734	864	33	6,393
平成 29 年	3,985	1,866	860	40	6,751
平成 30 年	4,210	1,788	851	39	6,888
令和元年	4,177	1,723	872	30	6,802
令和 2 年	3,891	1,726	733	30	6,380
令和 3 年	3,968	1,557	738	28	6,291

ドクターヘリの要請状況

(単位:件)

	要請件数	活動件数	事故種別要請件数								
			火災	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	自損	急病	その他
平成22年	26	8		1	7	4	3	3	1	7	
平成23年	45	26	3		22	4		9		7	
平成24年	50	30			28	6	1	5	1	9	
平成25年	58	47	1	1	31	14		8	1	2	
平成26年	48	42			26	5	2	10	1	3	1
平成27年	51	44	1		18	13		10	3	6	
平成28年	55	43	1		33	4		7	2	7	1
平成29年	55	45	1		21	8		8		17	
平成30年	41	34			19	4	1	8		7	2
令和元年	48	38	1		20	7		11	3	6	
令和2年	41	36	1		24	3		5		8	
令和3年	40	38			17	6		9		8	

市町別ドクターヘリ要請状況

(単位:件)

	亀岡市					南丹市					京丹波町					合計
	交通	一般負傷	急病	その他	計	交通	一般負傷	急病	その他	計	交通	一般負傷	急病	その他	計	
平成22年			1		1	7	1	3	3	14		2	3	6	11	26
平成23年	5	4	1	4	14	8	3	3	1	15	9	2	3	1	15	44
平成24年	6	2	3	2	13	19	2	4	3	28	3	1	2	3	9	50
平成25年	8	5		8	21	16	1	1	3	21	7	2	1	6	16	58
平成26年	9	3	1	5	18	13	3	2	2	20	4	4		2	10	48
平成27年	11	6	1	7	25	6	2	3	6	17	1	2	2	4	9	51
平成28年	8	4	4	4	20	17	1	1	4	23	8	2	2		12	55
平成29年	7	3	2	6	18	11	4	13	3	31	3	1	2		6	55
平成30年	11	3	2	3	19	8	2	4	4	18		3	1		4	41
令和元年	11	6	1	9	27	7	4	4	1	16	2	1	1	1	5	48
令和2年	16	2	1	3	22	6	3	5		14	2		2	1	5	41
令和3年	6	3	2	5	16	8	3	4	1	16	3	3	2		8	40

消防相互応援協定の状況

消防相互応援協定

大規模火災、爆発、その他特殊な火災等が発生し、管轄する消防機関の消防力では防ぐことが著しく困難な不測の事態に対応することを目的として、消防組織法の規定に基づき、隣接市町等と消防相互応援協定を締結しています。

() 内は初期の締結年月日等

協定市町等	締結年月日	内 容
茨木市・亀岡市	平成18年 6月14日 (昭和59年3月31日)	火災・救急・救助業務 (火災・救急業務)
能勢町・亀岡市・豊中市	平成27年 4月 1日 (昭和59年3月31日)	火災・救急・救助・その他業務 (火災・救急業務)
亀岡市・箕面市・豊能町	平成28年 4月 1日 (昭和59年3月31日)	火災・救急・救助・その他業務 (火災・救急業務)
京都市・亀岡市	平成18年 7月 1日 (昭和62年8月31日)	火災・救急・救助業務 (火災・救急・救助業務)
京都市・南丹市	平成18年 7月 1日	火災・救急・救助業務
高槻市・亀岡市	平成19年 2月 1日 (昭和59年3月31日)	水火災・救急・救助業務 (火災・救急業務)
若狭消防組合	平成20年 3月 1日 (昭和58年11月1日)	火災・救急・救助・その他業務 (火災・救急業務)
篠山市	平成20年 3月 1日 (平成11年7月1日)	火災・救急・救助・その他業務 (火災・救急・救助・その他業務)
福知山市	平成20年 4月 1日 (昭和59年9月1日)	火災・救急・救助・その他業務 (火災・救急・救助業務)
綾部市	平成20年 4月 1日 (昭和58年12月1日)	火災・救急・救助・その他業務 (火災・救急業務)
高島市	平成26年 4月 1日	火災・救急・救助・その他業務

京都府広域消防相互応援協定

隣接市町等の消防力をもってしても防ぎよ困難な大規模災害等及び特殊災害等に対応することを目的として、京都府内の市町村及び消防一部事務組合と広域消防相互応援協定を締結しています。

()内は初期の締結年月日等

協定市町等	締結年月日	内 容
京都府全域	令和2年3月27日 (平成元年12月1日)	大規模災害・特殊災害 (災害全般)

京都縦貫自動車道（宮津天橋立インターチェンジから丹波インターチェンジまで）及び山陰近畿自動車道（一般国道312号）における消防相互応援協定

京都縦貫自動車道の宮津天橋立インターチェンジから丹波インターチェンジまでの間及び山陰近畿自動車道の宮津天橋立インターチェンジから京丹後大宮インターチェンジまでの間の道路上における災害時の対応策として、綾部市、舞鶴市、宮津与謝消防組合及び京丹後市と消防相互応援協定を締結しています。

()内は初期の締結年月日等

協定市町等	締結年月日	内 容
綾部市・舞鶴市・宮津与謝 消防組合・京丹後市	平成28年10月30日 (平成20年9月13日)	火災・救急・救助業務

京都縦貫自動車道（大原野インターチェンジから篠インターチェンジまで）消防相互応援に関する申合せ書

京都縦貫自動車道の大原野インターチェンジから篠インターチェンジまでの間の道路上における災害時の対応策として、京都市消防局との間で申合せ書を締結しています。

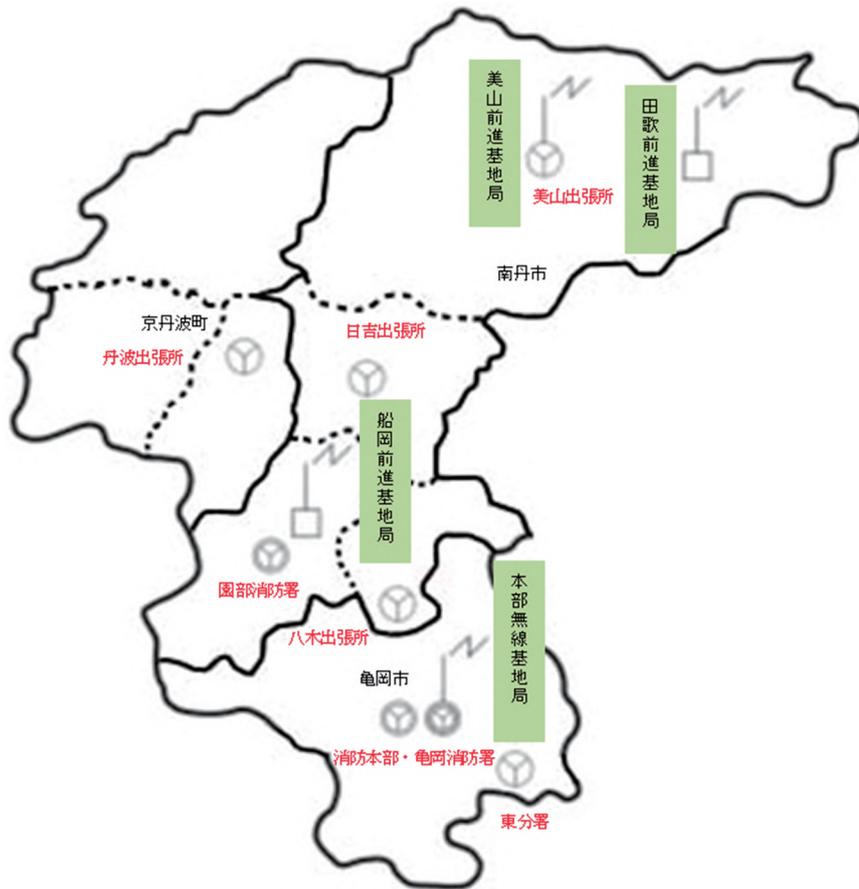
協定市町等	締結年月日	内 容
京都市消防局	平成25年 4月21日	火災・救急・救助業務

緊急消防援助隊の登録

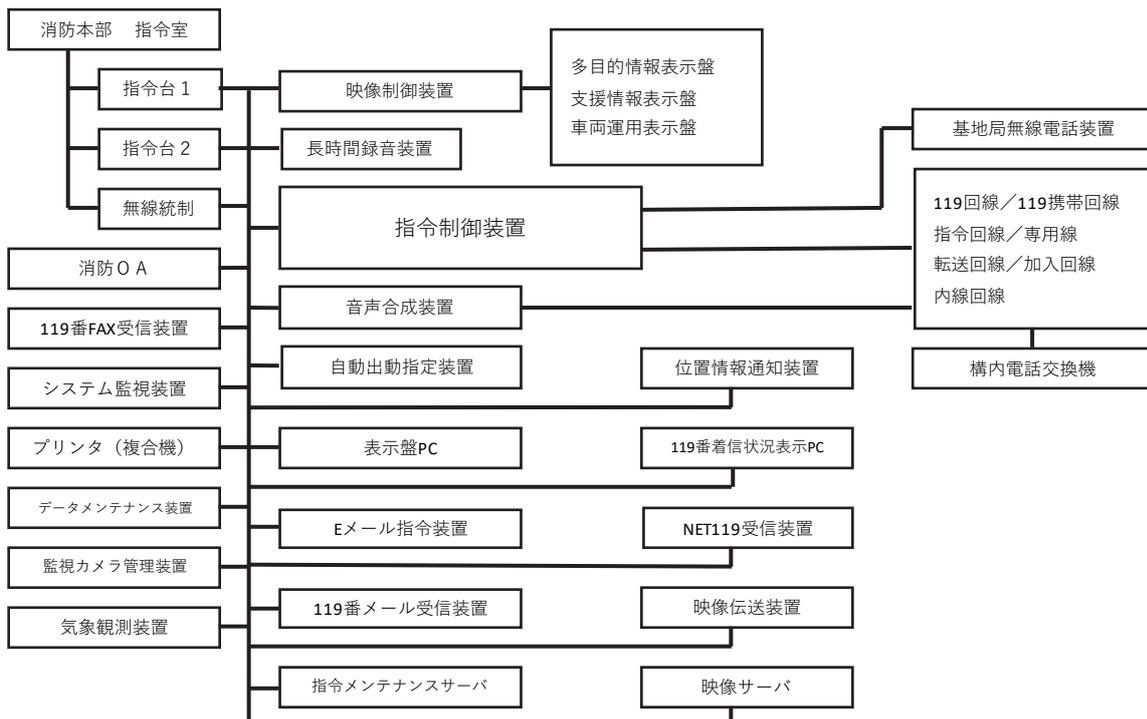
国内で発生した地震等の大規模災害において、被災地の迅速な人命救助活動を実施する緊急消防援助隊に救助隊1隊、消火隊2隊、救急隊2隊及び特殊装備隊1隊の計6隊を登録しています。

消防緊急通信システムの状況

消防通信施設の現況



消防緊急通信指令システム構成図



指令システムの現況

機 器 名		数量	備 考	
1	指令装置	指令台	2 台	2 席 多目的情報端末、受付補助 端末含む
		自動出動指定装置	3 式	
		地図等検索装置	3 式	
		支援情報検索装置	1 式	
		長時間録音装置	1 台	
		非常用指令装置	1 台	
		指令制御装置	1 台	
		署所端末装置	7 式	
		地図データ	1 式	
		携帯電話・I P 電話受信転送装置	1 式	
2	表示盤	車両運用表示盤	1 面	70 インチ L C D
		支援情報表示盤	1 面	
		多目的情報表示盤	1 面	
3	無線統制台	1 式	指令台と同じ機能	
4	気象情報収集装置(消防本部)	1 式		
	気象 W e b サーバ(消防本部)	1 式		
	気象観測装置	2 式		
5	災害情報等自動案内装置	1 式		
6	順次指令装置	1 式		
7	音声合成装置	1 式		
8	救急医療情報収集装置	1 式		
9	出動車両 運用管理装置	管理装置	2 式	
		経路探索装置	1 式	
		車両運用端末装置	32 式	
		車外設定端末装置	15 式	
		ループトップアンテナ	32 式	
		無線 L A N 装置	10 式	
10	システム監視装置	1 式		
11	統合型位置情報通知システム	1 式		
12	ネットワーク設備	1 式		
13	映像伝送装置	映像情報収集・表示装置	1 式	
14	その他	Eメール指令システム	1 式	
		119 番 F A X 受信装置	1 式	
		119 番メール受信装置	1 式	
		N e t 119 緊急通報システム	1 式	
		119 番着信表示装置	1 式	
		119 番受付緊急通報	7 式	
		車両状況設定装置	7 式	

消防無線電話配置の状況

(令和4年4月1日現在)

所属	区分	合 計	超 短 波 無 線 電 話 機		
			基 地 局	移 動 局	
				車 両 搭 載	携 帯
消 防 本 部		9	4	2	3
亀 岡 消 防 署	本 署	19		10	9
	東 分 署	8		4	4
園 部 消 防 署	本 署	14		9	5
	八 木 出 張 所	5		3	2
	日 吉 出 張 所	5		3	2
	美 山 出 張 所	5		3	2
	丹 波 出 張 所	5		3	2
合 計		70	4	37	29

管内消防団の状況



団 長
田井 浩二

亀岡市消防団

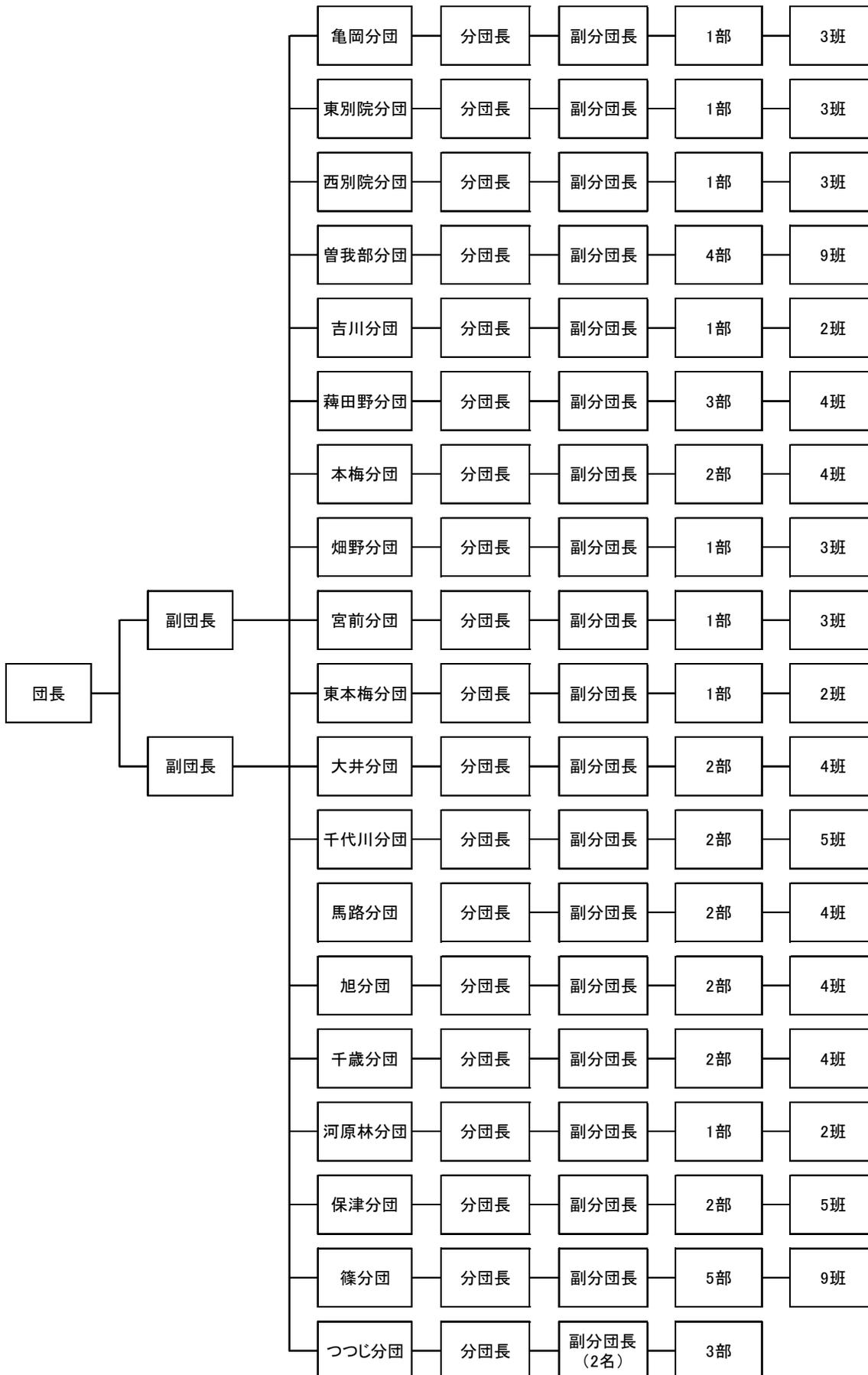
管内面積	224.80 km ²	団 員 数 880人
人 口	87,302人	

沿 革

- 昭和30年 1月 1日 市政施行に伴い、16市町村消防団が合併、亀岡市消防団が結成（16分団、団員数2,995名、人口38,049人、世帯数7655世帯）
- 昭和31年 9月30日 1村（東本梅村）の編入に伴い、17分団、団員数2,121名とする。
- 昭和32年 4月 1日 亀岡市消防本部の設置に伴い、団員数を2,000名に減員する。
- 昭和34年 9月30日 1村（篠村）の編入に伴い、18分団、団員数2,078名とする。
- 昭和35年10月14日 台風16号での人命救助、災害復旧等の顕著な活動に対し、日本消防協会長から功労表彰（竿頭綬）を受賞する。
- 昭和35年12月10日 台風16号での功労に対し、消防庁長官功労表彰（水防功労）を受賞する。
- 昭和43年 4月 1日 常備消防の充実に伴い、消防団員を減員、1,000名の少数精鋭とする。
- 昭和45年10月15日 第2回全国消防操法大会に京都府代表として亀岡市消防団が出場する。
- 昭和56年 2月11日 日本消防協会長表彰（表彰旗）を受賞する。
- 昭和58年 9月24日 亀岡市長表彰（表彰旗）を創設する。
- 昭和61年 3月 5日 消防庁長官表彰（表彰旗）を受賞する。
- 平成 元年10月25日 昭和63年4月28日、29日の山林火災における消火活動に対し、府民の消防賞（京都新聞社）を受賞する。
- 平成 元年11月17日 9月2日、3日の水防功労に対し、建設大臣から水防功労表彰を受賞する。
- 平成 6年 1月30日 京都府知事表彰（表彰旗）を受賞する。
- 平成 8年10月21日 千代川分団ラップ隊が府民の消防賞（京都新聞社）を受賞する。
- 平成 9年 7月 9日 亀岡市長特別表彰（表彰旗）を創設する。
- 平成12年11月20日 45年 亀岡市消防団のあゆみを発行する。
- 平成13年 2月 9日 日本消防協会特別表彰（まとい）を受賞する。
- 平成13年 9月 1日 亀岡市長表彰（まとい）を創設する。
- 平成14年 4月 1日 部・班の整理・統合、つつじ分団の創設に伴い19分団、団員数900名とする。
- 平成16年 8月 1日 第18回京都府消防操法大会において、亀岡市消防団が小型ポンプ操法の部で優勝する。
- 平成18年 1月29日 京都府知事特別表彰旗を受賞する。
- 平成18年 8月 6日 第19回京都府消防操法大会において、亀岡市消防団がポンプ車操法の部で準優勝する。
- 平成23年 3月31日 55年 亀岡市消防団のあゆみを発行する。
- 平成26年11月26日 台風18号での水防功労に対し、国土交通大臣から水防功労表彰を受賞する。
- 平成27年 3月 6日 消防庁長官表彰（竿頭綬）を受賞する。
- 平成27年 9月 1日 防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞する。
- 平成31年 2月13日 7月5日から8日にかけての水防功労に対し、国土交通大臣から水防功労表彰を受賞する。
- 令和 元年 9月 1日 防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞する。
- 令和 元年10月23日 平成30年7月豪雨での水防功労に対し、府民の消防賞（京都新聞社）を受賞する。



【亀岡市消防団組織図】





団 長
野中 大樹

南丹市消防団

管内面積	616.31 km ²	団 員 数 1,302人
人 口	30,597人	

沿 革

平成18年	1月 1日	南丹市消防団設置 団員1,590人(定数1,700人)
平成20年	7月 6日	第1回南丹市消防団操法大会実施
平成22年	1月 1日	京都府消防協会長表彰優秀竿頭綬受章
平成22年	7月18日	第2回南丹市消防団操法大会実施
平成23年	2月 6日	京都府知事表彰竿頭綬受章
平成23年	4月 1日	消防団員定数改正(定数1,550人)
平成24年	2月23日	日本消防協会長表彰竿頭綬受章
平成24年	4月 1日	消防団組織再編(本部の充実、女性分団設置など)団員1,500人
平成24年	7月22日	第3回南丹市消防団操法大会実施
平成24年	8月 5日	第22回京都府消防操法大会ポンプ車操法の部第3位入賞
平成25年	5月30日	水防活動京都府知事感謝状受章
平成26年	7月20日	第4回南丹市消防団操法大会実施
平成28年	7月17日	第5回南丹市消防団操法大会実施
平成30年	7月 1日	第6回南丹市消防団操法大会実施
令和 4年	7月24日	第7回南丹市消防団操法大会実施

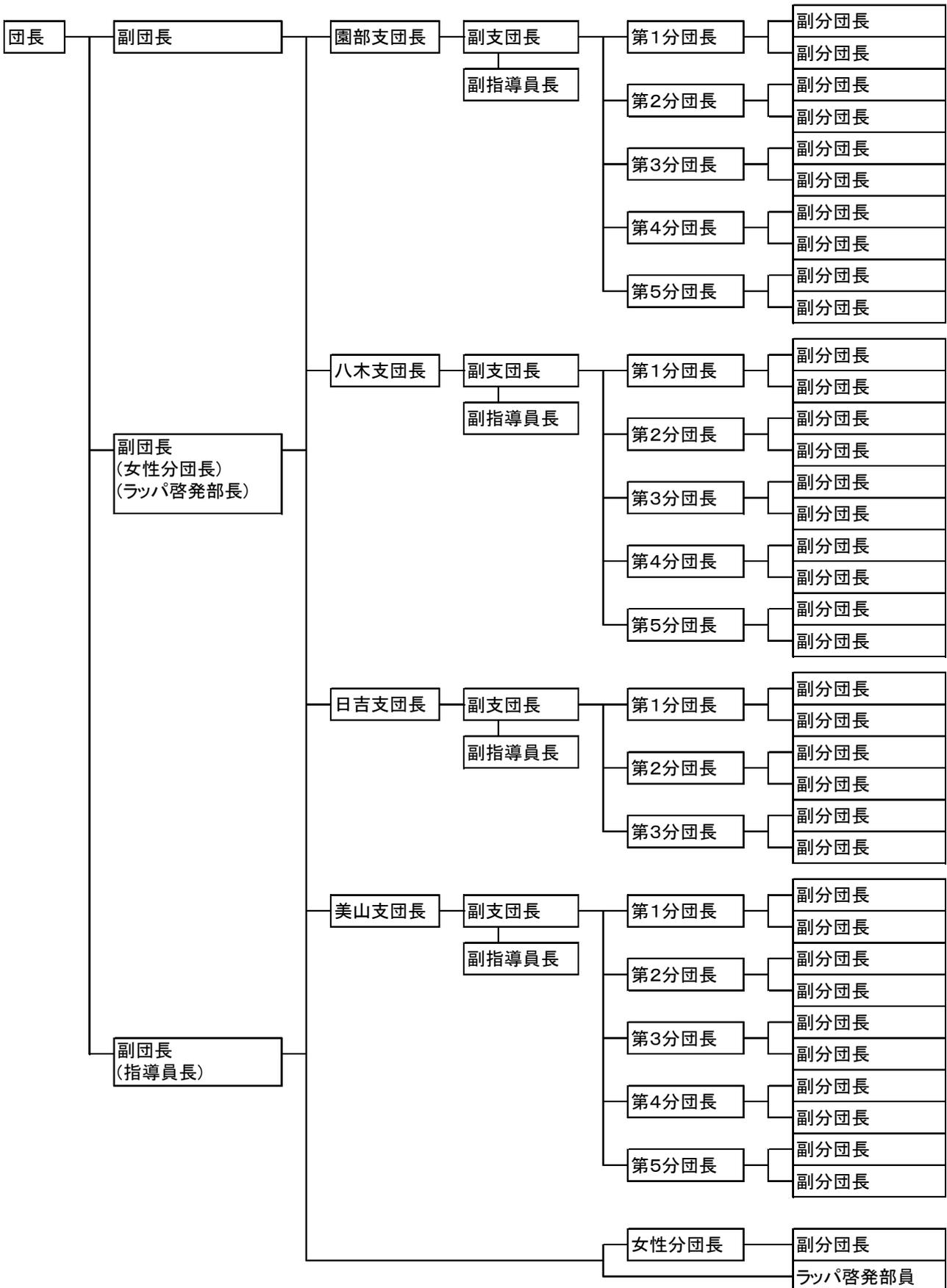


消防団出初式



消防団操法大会

【南丹市消防団組織図】





団 長
栗林 英治

京丹波町消防団

管内面積	303.07 km ²	団 員 数 716人
人 口	13,205人	

沿革

- 平成17年10月11日 丹波町・瑞穂町・和知町が合併し、京丹波町が発足
- 平成18年 4月 1日 京丹波町消防団が発足
初代団長に森 良行氏就任
- 平成18年 8月 6日 第19回京都府消防操法大会において、丹波支団第3分団が小型ポンプ操法の部で5位入賞
- 平成20年 4月 1日 消防団組織改編 3支団16分団47部体制、団員定員900名。活動服の統一、分団旗新調
- 平成20年 7月27日 第20回京都府消防操法大会において、瑞穂支団瑞穂第1本部がポンプ車操法の部において3位に入賞
- 平成22年 4月 1日 団長に梅原好範氏が就任
- 平成22年 8月 1日 第21回京都府消防操法大会において和知支団第3分団がポンプ車操法の部において3位、瑞穂支団第2分団が、小型ポンプ操法の部において3位に入賞
- 平成24年 8月 5日 第22回京都府消防操法大会において丹波支団第4分団が小型ポンプ操法の部で2位入賞
- 平成26年 7月31日 第23回京都府消防操法大会において丹波支団第4分団が小型ポンプ操法の部で第3位入賞
- 平成28年 4月 1日 団長に隅田光郎氏が就任
- 平成28年 8月 3日 第24回京都府消防操法大会において丹波支団第2分団がポンプ車操法の部で第3位、丹波支団第4分団が小型ポンプ操法の部で第3位入賞
- 平成30年 4月 1日 団長に栗林英治氏が就任
- 平成30年 8月 5日 第25回京都府消防操法大会において丹波支団第2分団がポンプ車操法の部で第3位、丹波支団第4分団が小型ポンプ操法の部で第4位入賞
- 令和 4年 4月 1日 消防団組織改編 3支団16分団35部体制、団員定員850名

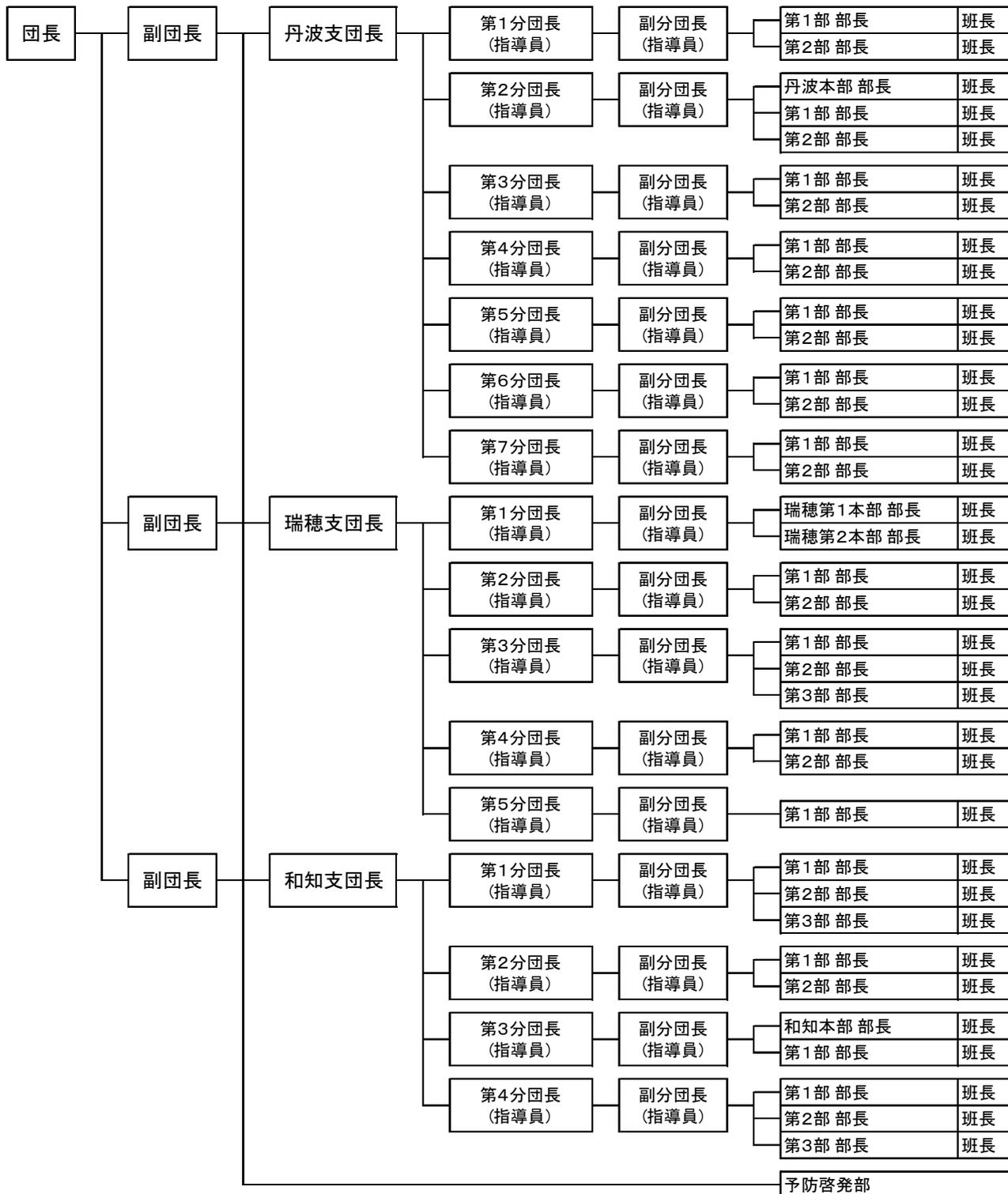


令和4年京丹波町消防出初式一斉放水



平成30年京丹波町消防操法大会

【京丹波町消防団組織図】



京都中部広域消防連絡協議会

(事務局: 京都中部広域消防組合)

京都中部広域消防組合と関係市町消防団との緊密な連絡調整を図り、消防業務の円滑な運営を図ることを目的に昭和57年4月1日に発足した。

組 織 (令和4年度)

会 長 田井 浩二 (亀岡市消防団長)
副会長 野中 大樹 (南丹市消防団長)
副会長 栗林 英治 (京丹波町消防団長)

事 業 (令和4年度)

連絡協議会の開催(2回)
常備・非常備消防の活動資料による情報共有(2月)
春・秋季火災予防運動の推進

平成29年度 視察研修 (京都大学防災研究所 宇治川オープンラボラトリー)



令和4年度 協議会 (亀岡市開催)



京都中部幼年婦人防火委員会

(事務局:京都中部広域消防組合消防本部消防課)

地域住民の自主防災体制の整備が要請されている現況に鑑み、その一環として京都中部広域消防組合の管内における幼年消防クラブ等の結成の促進、組織の拡大を図るとともにクラブの育成に努め、もって安全な地域社会づくりに資することを目的に、昭和62年4月1日に発足した。

組 織 (令和4年度)

会 長	森 一啓	(京都中部広域消防組合 消防長)
委 員	木曾 布恭	(亀岡市自治会連合会 副会長)
委 員	橘 恭堂	(亀岡市幼年消防クラブ連絡協議会 会長)
委 員	浦井 美紀	(南丹船井幼年消防クラブ連絡協議会 会長)
委 員	田井 浩二	(京都中部広域消防連絡協議会 会長)
委 員	中村 一夫	(亀岡市危険物安全協会 会長)
委 員	森 隆	(南丹・船井危険物安全協会 会長)
会計監査	鈴木 良一	(亀岡自衛消防隊連絡協議会 会長)
委 員	高橋 則充	(南丹船井自衛消防隊連絡協議会 会長)
委 員	中川 猛	(京都中部広域消防組合 亀岡消防署長)
委 員	淵上 剛	(京都中部広域消防組合 園部消防署長)

事 業 (令和4年度)

- 定例会議の開催
- 火災予防啓発運動の実施
- 防火七夕会の開催
- 春・秋季火災予防運動行事への参加
- 令和5年出初式の参加

京都中部広域消防組合設立

40年のあゆみ

令和4年10月吉日

発行 京都中部広域消防組合

記念誌編集委員

北川 武司	桐野 淳
堀 智博	中面 努
竹内 純	小野 直之

京都中部広域消防組合消防本部

〒621-0851 京都府亀岡市荒塚町1丁目9番1号

TEL (0771) 22-9580
FAX (0771) 25-4535

亀岡消防署	〒621-0851	亀岡市荒塚町1丁目9番1号	TEL (0771) 22-0119 FAX (0771) 23-4535
東分署	〒621-0826	亀岡市篠町篠向谷5番地の1	TEL (0771) 23-0119 FAX (0771) 25-0119
園部消防署	〒622-0011	南丹市園部町上木崎町大將軍19番地2	TEL (0771) 62-0119 FAX (0771) 62-1719
八木出張所	〒629-0141	南丹市八木町八木河原20番地30	TEL (0771) 42-3119 FAX (0771) 42-2119
日吉出張所	〒629-0311	南丹市日吉町胡麻イカガヘラ13番地9	TEL (0771) 74-0119 FAX (0771) 74-1119
美山出張所	〒601-0755	南丹市美山町静原石橋8番地	TEL (0771) 75-0119 FAX (0771) 75-2119
丹波出張所	〒622-0203	船井郡京丹波町富田長野40番地3	TEL (0771) 82-0119 FAX (0771) 82-0170